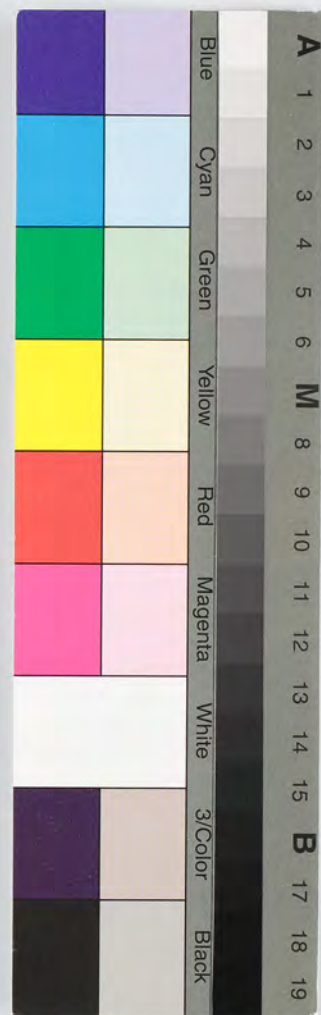
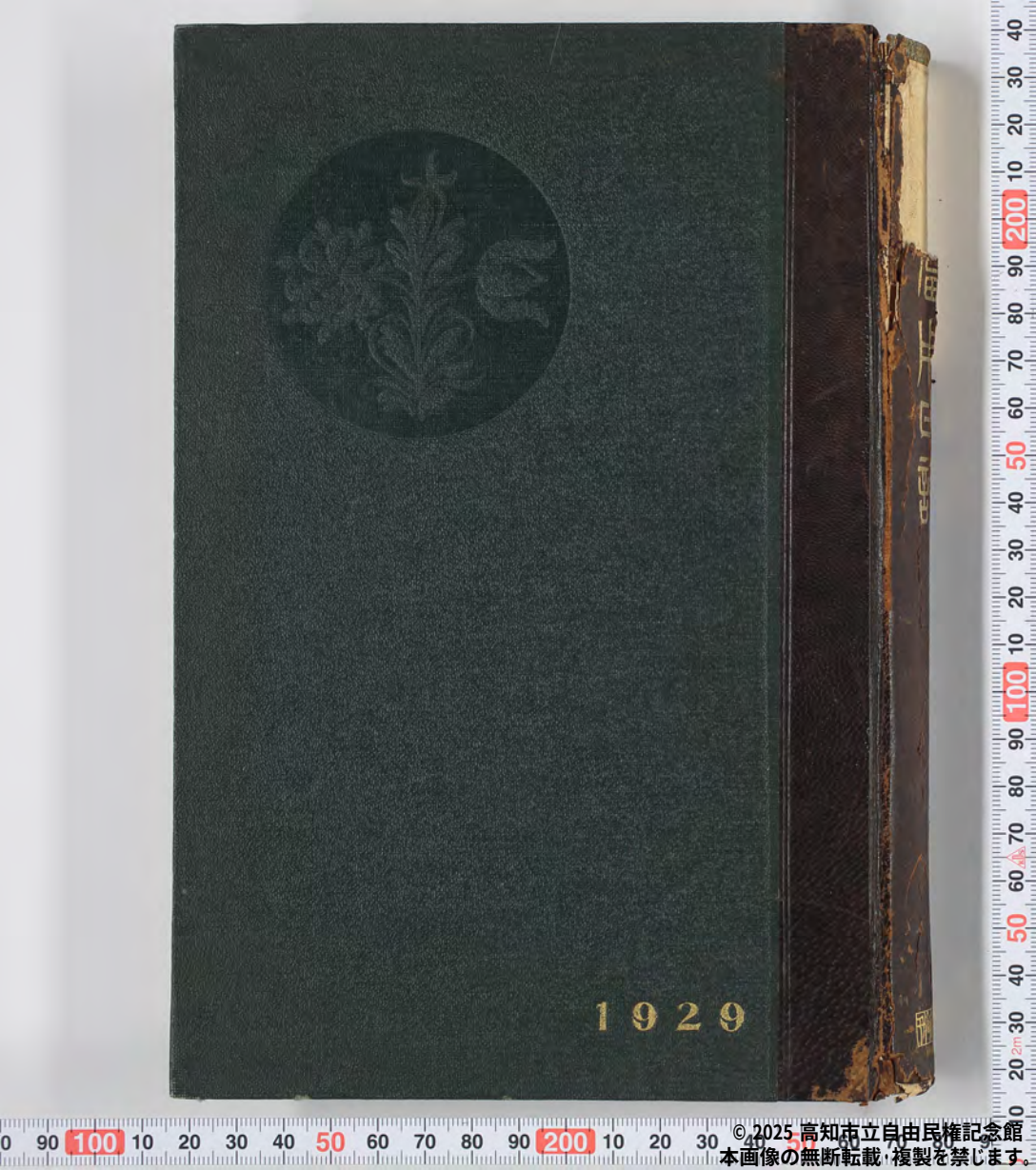




以下日記頁のみ撮影
(1月1日～12月31日)

戊辰四月十一日
二十九日

高 張	高 張	高 張	高 張
			晴
			微 寒

新會の合

社會の全史

胡六時解益三十七分
青柳子土下船キ珍藥ヲ
皮リ口致う痛メ病机痛疾ヲ起シタルガ如シ下熱劑
及嗽薬ヲ服セラル本日は辛日而三日前よりハ寒食也有
從蒸エゝ為メカ夕刻三十七分五合以上トナラズ

鑑史の後姿や初臨喜肉

11 (二拾明)す炭を制の刀帶字苗の商賈 (二進慶)位即皇天治明 (三七八一)す教信三ノオレボナ

日 八 月 一

火 丑 癸

[illegible]

朝十時 羊松村迄 太郎成 未涼 夫村工場 新子宴合
相談ナリ

われも望しわけて女の故もまた
この冬の夜をにきてあるらむ

小澤榮作

(三和昭)す洲坐に沖浦瀬賢一ロンモ加汽米(八同)む宅と蔵六満を勤模の徒生模小(五治明)ふ行を式兵戦てめ始 10

午前十一時と社
頭本に於て未だ所存及此の家底事等々昔金
々々として相談ナリ弄成り為メ計りて將來ア
ハカシト思ヒ之レ全ニ其知リ社長に付ヘ置
キ後一時十分ヨリ南事堂改令四時半と成リテ
南工合議知所子辰初
午後五時
新

一大に別家橋工場南事、債権ヲ除外シ
三百七拾五万円ニテ八五ノ末々トナス
一今季に二負七十余名、貸負約六十名採用
一独断、機械、習、債、債、先、後、ト、於
五、月、月、及、ト、件、(老、年、者、未、可、也)
四時半十分退出

午前十一時と社
頭本に於て未だ所存及此の家底事等々昔金
々々として相談ナリ弄成り為メ計りて將來ア
ハカシト思ヒ之レ全ニ其知リ社長に付ヘ置
キ後一時十分ヨリ南事堂改令四時半と成リテ
南工合議知所子辰初
午後五時
新

一大に別家橋工場南事、債権ヲ除外シ
三百七拾五万円ニテ八五ノ末々トナス
一今季に二負七十余名、貸負約六十名採用
一独断、機械、習、債、債、先、後、ト、於
五、月、月、及、ト、件、(老、年、者、未、可、也)
四時半十分退出

晴

暖基

上時半七社直一銀行本店へ赴キ重役会へ列ス此間
桑田其太（即成）面会主役会後午餐食テ其ニス
午後一時奥村理幸引見

午後一時、奥村理幸、引見。

三橋金庫壽郎神戶服部三氏今朝興吉

前現西社共報の森保、石丸仕在、月

三橋壽子介シテ田中義庫支取ル。虎命不公時

自介以令而與之共相于海于名

三時十分辰馬中安驛下左司理裝所主事同

五時淨宅

夜令日之新夕、神田五郎未ル面会ヲ断ル又焚不視

食所主事へ、三河城ヨリ面会要請申上り明日午

後一時三時前に三友会社で面会し宿を

氣 冠

暖 寒

九、少送雲今在懷合

上書便樂部立別所

無名會友書

東洋聯合借款及

張氏三子

五五五

午刻十一時羊山社

午後一時半 聖視廳三川官房主事 未済聖視廳

下
心
聖
救
恤
基
金
百
萬
圓
募
集
件
事
今
成
立

後來、務盡員三十九和、又余ノ不化ヲ知シ、本件

老石果 羽衣千毛 信之付 三甲トモ 恒得上人

一、冀望於五方回也

取奉薩長集八
寒中水亦舉行
身由八百四
萬ノ

午後五時半新主聖、初令礼興大会、出席不若概算有

片岡幸彦江木、前大長、鈴木富士、小倉幸生

及山下庵三節、而後新入會、大時辰去、歸宅。

李百子傳新、安田入り、久木廣成、氏族抄

來以成。元以來。日。疾已。十。月。身。枯。是。清。土。實。

子台
校等
在處

29

長生堂
御祭

正午正業俱会本部
日本経済新聞会

十二時十分止社

午後一時三十分止社
北ノ下ハ社債券加増ノ機設ケテナキ地位ニテ
ズトノ設備費ハ今何処ニ致シタルスルノ米山
社長ノ意見見変リナリ一昨打切リ旨致ス

バリター蓄音機六千株引麦書ハ紙印ス
午後三時半三井銀行池田成樹氏三十一日祥々
箱根九ノ外ハ午時迄未ル

四時五十分止社
小林成樹氏(天分)ト直田夫氏ノ博識ト在
午後三時半神田明神ノ茶席ノ式ヲ終ル
初ミテ夜ヲ来ル

月下氷人ナカ房トくらハあハカ
宮の傍おしらいあつて、傍の
なまき、やかに寝つたあられな
熊野野島子

御祭

西に似る子ガ字の形と誤り
息を吹き出し、思ひ出し人
原阿佐緒

長生堂
御祭

正午十時半正業俱
会本部
午後四時

午後四時
中領受部会
送金ス

爪ノ下リ雪晴ル雀ノ群ガニモ積マズ朝小林雨
午後三時半三井銀行池田成樹氏三十一日祥々
箱根九ノ外ハ午時迄未ル

午後三時半神田明神ノ茶席ノ式ヲ終ル
初ミテ夜ヲ来ル

月下氷人ナカ房トくらハあハカ
宮の傍おしらいあつて、傍の
なまき、やかに寝つたあられな
熊野野島子

晴
午後三時三十分
午後三時三十分

今朝九時久通実殿下ッ奈儀登島ノ岡ニ
奔リル舞音祭停止
午後三時高輪自宅ニ於ケル午食正所氏ノ音別
テ合衆スヲ給金ノ中在交又巨ノ胃業店ニ
テメノ数点ヲ贈リ
立部太輔祥端中四奉付 才十人刑
代金三拾圓
織部向付五番橋ノ千島ノ四 三拾圓
金五圓ハノ支那ノテケル石森中引補血松枝
代金三拾圓
在汝染付蓬ノ島向付松各 三拾圓
宣徳銅花生 三拾圓
通中中野正剛女来ル 又中野六三郎女来リ面
会中ノ書面来リ

晴
午後三時三十分

朝十一時松村庵太郎氏本所相済ニシ社摩牛ニテ
未食先ス
午前十一時半糧友会主催食料展覧会ノ件ニテ種
林本蔵長側金治川廠員ニ才主計江川恒雄
氏来社三井全株手方圓次附ノ事言明シ置リ
八木淳一氏来訪手田秘書ヨリテ事立先ヨリカシム
ニハズレテ終リ
午後河上邦彦氏ハ夜校船渠(取俸役会員)来訪
此時退去終リ
夜分栄文蔵書ヲ二軒引係ニ送奉方小室必平
世云氏ノ及一手ス
後富田鉄峰氏国民新党社無容賤客會合登壇
入タル事ヲ金合事々外ハ午ノ富久何十地神カ銭
瓜ヤ方ノハナケ断ル

月二十日 戊戌

常 變 常 設

晴

山本公葉内之復八何年

上時芋出社余次市田保甚壯不疾其或三所フ不在
 午後五時迄船室役令、列事ス
 衆議院議員中西六三郎氏、手江渠二市男、伯介
 柔福州、幸内閣、ノ意見、南藤アリ
 家庭、幸方々、攻不臣、氏、米坊、十八日、在、市、内、アリ
 中村清、夜、氏、紹介、南幸、二、子、運、移、士
 陸上、先、方、其、其、望、より、丁、ノ、在、早川、船、柏、部、長、ノ、話、ス、ナ、シ、ト
 幸、タ、リ
 四時、區、女、掃、宅、夕、飯、後、八、時、芋、山、幸、氏、ノ、松、亭、ニ、臨、ミ
 市、幸、子、談、合、ス、十、八、時、手、掃、宅
 幸、タ、リ、一、緩、小、橋、ノ、二、三、輪

千手合八十時手掃地

春立
金九時四後

晴

午後四時偕行社

清廟伯業也

伯病之為世

正午祈禱樂

朝神元ノ赤田儀ニ手来ル。此天ノ地知、横山ノ地
又境前廣於集ニ付、横山ヨリ申出ノ件ニ依ル矢
方六分也。方四分ノ頁、亦ナレバ方處ス可シト。(其大
く云ハレト)申置テ費用見積リ、初々三百円、料系
ノ外ヲ除ケルモノ同、五十リ

十一時十五分迄、社再張日役後、政長、永田ノ旧市校ヨリ
立アリタル市会洋化ノ達、高貴ノ支セニ付、社長ハ勤セ
ラレ、場合ノ开会ヤ方ヲ三升會方ニ依頼シ、工町半
新毛幸、初ナル午餐會、母リ小契杯休、奥太郎
隨テ四人来リ會ス。五月末日ノ物ヲ頒行セルナリ。三時
退出帰社

社長、面会市会洋化連、高貴ヲモ万圓支出ノトシ有
カズ成ト傳テ开会セリヤス

五時退出帰宅、夜分辻来リ、狂態ヲ為スベカラ

晴

風

社内親睦会午後五時

午後十一時代社
午後五時 郵船重役会、大席ス
午後五時 金田中、於社内、親睦会、忘れ名ハ
親睦会、モ、夫ハ余等、行、花、待、会、ナリ、當日晴
、ナ、京都、ナ、駛、走、ヲ、来、タ、ル、モ、相、集、リ、テ、抽、烟
、氏、ハ、決、テ、モ、テ、主、人、側、ハ、加、ハ、リ、一、ナ、晴、鈴、ハ、母、キ
、良、席、ハ、信、ミ、テ、暫、時、ナ、金、田、中、カ、ハ、リ、族、砂、ノ、時
、ラ、速、ベ、タ、リ、合、ス、セ、ノ、宴、飲、會、三、三、名、個、ハ、タ、踊、リ
、余、興、ア、リ、九、時、退、席、散

郵船重役会午後五時
抽煙式
会中
八時半退席

晴

風

晴

風

晴

風

午前十一時半出社

午後五時、夕方に、直江氏、来所
、奥、村、座、手、ヨリ、自、大、代、長、ノ、樺、木、石、建、針、葉、ノ、西、株、キ
、針、葉、会、社、ノ、後、方、廿、三、日、ヨリ、何、等、ノ、物、ヲ、カ、リ、レ、ト
、ナ、不、満、ノ、意、ヲ、表、セ、ル、付、青、木、中、常、務、ノ、注、意、を、ス、ル、タ、リ
、西、野、原、出、席、氏、主、会、社、氏、ヨリ、正、夜、ノ、カ、ル、件、ハ、ナ、テ、ノ
、未、信、之、意、ハ、ナ、リ、モ、ナ、リ、答、中、ス、可、キ、筆、ヲ、執、リ、タ、ル、モ
、冷、僻、ノ、意、ナ、リ、為、メ、見、合、セ、タ、リ
、六、時、青、天、会、道、吉、祥、寺、ニ、参、リ

この夜は晴れ、九月の種手、田舎にあり。
、金、田、中、ハ、金、田、中、ノ、名、ヲ、知、ル、モ、ナ、リ、

別府、夜航、銚子、別府、帶田、若

己巳年二月

[illegible]

朝十時霜振永田葉菜未ハ赤汁貫百五於用
十二時四十分赤社ハ長ハ母ハ生病氣着セ渡ノ為赤社
直ニ鎌倉ニ於テ行違フ
午後三時未月十六日田村賣立ハ大段ニ行久々ナ
紹介ニ春海ノ事方
午後五時一条公府邸ニ於テ而葉菜職満會ニ臨ム
井上兩泰外ノ外祥山江見英ノ手江驛一即秋山主輔
長灰及一条公府會合會事午後時半マニタシ余
ハ九時返ル

月 正 四 巳 巳
日 一 十

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十

朝十時十分七社倉庫会社重役会、
 午後一時製鐵会社重役会、件ヲ呈送ス
 一、新築一件、
 一、鋼材会社斗百円、テ銀行ヨリ肩代リ件、
 午後一時三發海上火災保險会社重役会、別件
 當時辰出小松歌、底島女子前ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

月 正 閏 巳 己

[illegible]

十時前馬輪、参り遺骸ヲ客岡ニ場、移ス。馬
尤モ此ニ骸歸、草供物、置置モ立派、出来上リ諸事
整頓、遺骸ナシ
葬儀ハ一時半、始マリ斗時半ニ終リ三時前十分一
般ノ各別式、移ル一般ノ会葬、キ五百七十八人ニ葬社
員ヲ加ツバ斗半人、近シ何等ノ故障ナリ四時半終
了五時半橋養列自、動車ハ台初ケ答ハ葬場、
参リ橋ヲ持、草ノ灯、納メ物一時周ヲ費、ニテ再度
馬輪ノ知、カヘリ(金モ全行)六時半全卸ヲ辭シ、擇先
四五日未初メテ熟睡スルヲ得タリ
小振ヲ修メ、ヤ中至、台手給料々家計費ヲ及ス

62

(二政安) る 來に 田下 船カリメア (八四八一) 立成 拍政和共通傳

己巳年四月廿七日

二 月 二 十 六 日

火曜

[illegible]

今朝電話にて新英樂、於此無名會、出席ヲ断ル
小杯茂、今人天停、冷料ハ松岡教太郎夫停也松
五阿、吉祥寺本廿廿斗百五松岡ウ成ス
十時煎輪、参リ市岡各異哉今毎議會、花候リ
告別式場、飾付、着キ
夜半十二時退出拜礼

10

(九一同) 布公制官省各 (一一治明) す見發を讀解の皇天靖漢 (元秋安) く國を港三鎮基、館設、田下

4

雨晴 風 雲 霞

田圃典夫未信公
返奉

昨夜半ヨリ今晩ニテ坪内(半一年ノ降雨アリ)朝
ニ至リテ雪レニテ益高リ春暖ノ氣アリ
十二時半云社
午後半時半高輪知テ後臺ノ初七日法衆
アリニ至リ時ニ養儀ノ終タルモ幸田青木
三好未屋三條、羽野、栗内ヲ亭ニシテ余ハ款
我己心時半辰云帰宅ハ仏前ハ果ナラ供フ
國幸田厚典夫ヨリ改月廿六日付書面中ニ長
其後ハ長所常吉ノ手紙ヲ拜入ス文主其ハ典夫
何久向ハマテハ生母ナル旨ヲ告ケ人ヲ誘ヒ去レテ
内室ハハマテ夫婦ニ面会セシメントシタルモノナリ之
対シ何久向大佛ノ未履ヲ着ゲテ躬直ノアマリ其夫
ヲ誘ヒテ庭邊ヲ吹カケントスルモノガ故ニ向後如
何様ノ手紙未レモ返サテ無用トナシテ亦小ヤシ裕藉
ニ道邊ニテ長シ奉月下旬拜入面会詳知拜入ハト半
ニル

雨 風 雲 霞
本日 三月十八日付
以テ
東京在來金銀式
教恒久玉紀昌十内親
王殿下リ金金監奉
ヲ囑ヒセシ

昨夜半ヨリ復雨降ル正午止ム夕景雲晴ルニ
從テ西北ノ風ニテ爽々ナリ
十二時半云社
午後一時雲ハ引見
是日私事一女還雅ヨリ帰朝其辰昔并ニ錢分
ノ様様ヲダラズハ報連告ミナリ百ハナリ歩ノ趣田
ヲ買収シタリト云フ
本月六日新義衆ノ合会ハ仙石女苑室内収奈之
田圃典夫ニ拜入三層預金ノ内三市円ノ一ヨリ其
元金係預金預金ハ其方保後ノ旨ヲ達ス
三市円分金會長ヨリ飯塚辰玩買収ノ意見ヲ
曉メス
四月半辰云社ハ七
夜ハ廿半中村嘉村ノ身ヲ右床ヲ交リ

晴

晴

来り市方而後会

午後市方東京

会叙新

朝九時文村利三来り

主時社

午後一時社長と手交主収支并損益豫算表呈

小和付一即ち未訪

春海商店三庵保白未訪

針葉会証臨時宣役会廿島歳計七百八十万円以

内賞収ノ事決ス

五時退出帰宅

三 月 七 日

晴

晴

午陽池清修殿

来り会叙六時

大徳會叙会日在

小会工葉俱来市

午後六時新

葉集会会来市会

午後五時新

全山林会聯合会

立洲市三春環

十一時五十分出社九朝九時半城紅二即ち午陽

小池而家清修殿殿席二杯大川幸三即ち次

来訪四々教役日平在位者初五百名一為教会宣渡

立付中野方面、教地入用、片三長して無償に貸付

依頼り地耳土右岸一十坪、三葉の全方面、知有

地十子取面三平不リト答(答)

午後六時新報會宣役会上海金庫達来外社参進

藏午片贈加ノ案送土セラハ大問題付篤ト考慮ス

午後六時東京会叙、松平牛陽殿、女中道雄ト

心奉ニ姉妹谷三子ト若僧、又香港ノ喜ト未交

三三三三余主賓トテ未賓代長ノ挨拶ヲ为シ

来リテス大川女中蔵テ喝テテ不ス主日ノ挨拶ハ録

晴	陰	雨	雪
大久保利通五十年 記念会、長瀬川中流 坐四、午後三時、草花 祭、特別茶會、 午後三時、草花会、森 井松子、賴若、伯郎、而 午後八時、茶會、市会			

十一時半、本社、今朝十時、新川みよ子、安井庄田十生、
飯来、左、俣、具、伴、い、早、こ、ト、幸、行、(井上、大、婦、)主
夜、鉢、植、テ、ホ、メ、直、田、村、恭、セ、シ、ム
午後一時、草花会、社、宣、役、会、列、ス
午後三時、草花会、叙、ハ、ケ、ル、大久保、早、東、侯、五、十、年、記
念、会、特、別、茶、會、会、心、こ、紀、念、ノ、方、法、付、合、セ、テ、休
ム、亦、会、近、方、案、持、来、リ、奉、ト、ス、深、川、公、岩、倉、男、
向、持、山、資、美、石、井、團、等、商、会、合、
四時半、席、宅、六時半、更、茶、井、松、平、伯、爵、等、於、九時半、
波、合、会、と、リ、会、会、主、人、外、三、垣、森、村、滋、々、各、男
諸、城、松、平、重、治、湯、川、及、余、ハ、人、一、テ、水、野、直、女、ハ、欠
席、又、食、後、時、々、花、ヲ、咲、カ、シ、夜、半、近、リ、席、宅
と、こ、ろ、お、り、香、り、ゆ、や、夜、の、席

晴	陰	雨	雪
倉敷、文太、及、本、松、一 府、未、ル、小、松、光、村 利、松、合、資、会、在、社、在 此、一、件、リ			

十一時半、本社
午後二時、新田、ト、共、ホ、ッ、エ、氏、未、訪、室、素
肥料、井、石、炭、液、化、し、申、シ、入、タ、リ、夜、アリ、後、前、ノ、自、り、実
村、理、事、ト、交、渉、ヲ、理、係、ス、リ、夜、に、置、リ
春、滿、ノ、三、氏、未、社、田、村、資、美、及、廿、二、日、西、岩、崎、家、共、シ、主、サ、キ
皆、申、置、リ
十九日、料理、店、社、外、ノ、モ、ガ、井、儀、キ、耶、ウ、ン、シ、ル、分、抵、持、候
妙、ノ、用、社、外、不、端、取、前、指、座、アリ、タ、ル、旨、羽、野、松、善、侯
草、三、半、ホ、リ、草、何、ノ、失、例、ヨ、リ、取、極、メ、公、女、ヨ、リ、合、會、者
ト、ハ、得、タ、ル、ト、云、外、ナ、リ、座、テ、半、フ、可、キ、奉、モ、ア、ラ、ス、三、軒
女、ト、申、合、メ、山、口、取、次、レ、廿、日、東、京、会、叙、移、タ、奉、ト、三
軒、女、ヨ、リ、テ、永、坂、ノ、卦、キ、病、床、社、外、通、セ、シ、ム
四時、近、出、席、宅
昨夜、半、ヨ、リ、又、別、風、アリ、風、カ、十、七、メ、ト、ル、上、ル

晴

晴

久振リニテ爪納リ春陽ノ好天トナリ
朝ハ一時至キ鳥宿メテ庭前ニ味リ啼リ
床ニ立テのめぬノ風ぬあきりて

初者のゆき汁ノさきの湯ノ

か友茶手亥新茶試ト一丁清水正太郎作茶
紋ハ秋ノ花生ヲ懸ル昨午六月近園園ノ展覧
外外最末

鳥宿の鳴き声は春の訪れを告げる

晴

晴

無名合下後半

所出大町幹事

国産餅屋社合下後

二所中央亭本店

後飯新華伯有即

手製飯

（日米和書合下）
（タハ人）四月末朝

十一時ヤ社々長出社久振リテ羊頭痛ヲ脱シ心
地ストムフ上由良武女（海軍中佐）産ム（秋安合下）件
ノ件ハ此スハ頼用トシテ条件ヲ社々ノ下解テ得
エシテ折減取立金長ク付フ

午後食後ハ友商幸常留見 精社合社次子ハ
米屋アツシエーテド合社ノ意ハ一、改定本金モ五割一介
向六百五拾百円、二、アツシエーテド改定本金モ五割一介
三名株ハ三、改定社合社トスル、羊ナリニ改定名株ヲ付
スルハ望マシカラサルモ改定社合社トスルモ資本金ハ維持、
九分五令ヲ下ラハ保ホスル

五時半無名合下所出大町幹事ノ西武幹
事ナリ合スル者二十六名盛合下ハ時半退去帰宅

月二 日 巳 巳
日 二 十

陽	張	自露	張		氣冠 晴
				丁卯會子後五時半 山橋山各省、余 有事人、公處留市 幹事	微寒

〔四全全四〕

時辛社

午後一時、木村林次郎が、招き各務兼海会長、
奥村、中津、磯田、土岐、勢、致し難き旨、行へば、今
迄、中津、中津、上り得、十八日、諭、女、補、進、色、下、リ、タ
ル、モ、心、之、上、リ、了、解、ス
今、三時、郵、報、室、役、会、臨、ハ、社、員、長、原、藏、手、免、件、ハ、常
勢、取、停、役、外、各、務、兼、地、取、停、役、ト、成、リ、
、三、部、長、ヲ、加、へ、更、シ、原、兼、作、制、後、キ、ト、ス、三、時、半
会、社、カ、ハ、ル
四、時、半、迄、出、共、兼、俱、兼、部、長、原、藏、手、免、件、ハ、常
五、時、半、迄、分、新、主、兼、兼、外、ケ、ル、下、分、会、臨、ハ、各、日、而、議、会
、松、下、政、民、而、免、格、致、ノ、日、ト、ル、以、テ、政、府、要、望、ノ、中、橋
三、次、望、月、小、川、各、大、臣、及、前、田、鳩、山、省、長、シ、テ、来、リ、会、ス
未、会、者、ハ、三、十、名、近、シ、九、時、迄、上

陽炎や飛ぶく青き馬場の草吐月

分春
分五十三時十前

三十一日

己巳年二月二十二日

乙丑

[illegible]

日出	五時四十五分	雲開	十一時八分
日沒	五時五十三分	夜閉	十一時五十二分

今日ハ春冬也三聖糸すり

版無其又却或ヨリ此内今朝来訪スルヨリ都合同
 合セリ也今今朝工一時合女夫来付ノ御身今春
 藏君死亡付テノ御身也
 正午奉時三ツ子、代乗ル来五日ハ定候先代ノ命
 日ナレハ付は奉来アリタント注意スリ今日ハ此年日ハ
 午今日ノ夜迄午ノ中ヨリ草ニ直ニ自富車ヲ三川ノ
 邊至ルニ至ル今如ハ目下美術宗陳列及及倉庫
 ノ建築ナリ梅花ハ紅白保ルル者數頗アリ
 莖前ノ辰ハ三時迄花橋平雅邦葉下座懸ラ
 臨候ス隱ハ武田素雄氏如右細川十州ハ雄於都下
 替アリ

陶

青海に春日かざろひ霞の如き
高嶺の城砦の花散く

興修野 寛

晴

晴

電報ニ度瀬幸信、神元着発、日取りヲ返カス

日本銀行上高信氣
 國際聯盟理事會
 副總裁ジヨフ、ア
 ウル女招待新英
 米子ねと新
 會糧店與會并
 金支午前付(市)
 漸

午後三時三十分、元村工場、今日分模蓋、湯井、持参
 不尋子三四百円利益ノ答
 新吉、お主人木村さー、母病死、廿番、三松園、班
 時、おせし、血時、子退、出先、洗、於、元、田、其、若、合、臨、一、勝、一
 敗、敵、カ、人、一、十、一、時、帰、宅
 小林、夫、婦、十、廿、頃、下、山、持、支、店、レ、リ、英、菜、店、去、模
 様、子、藤、ク、吉、祥、手、何、久、田、良、三、店、宅、十、八、午後、四、時、全
 焼、敵、リ、貝、舞、成、金、百、円、野、入、之、ト、小、林、ト、化、ス

午後三時、川利、湯、天、ト、ル
 午後一時、吉、祥、手、何、久、田、良、三、店、宅、十、八、午後、四、時、全
 中、反、レ、テ、ス、四、時、分、祥、心、余、一、次、五、妙、女
 夜、分、幸、信、三、リ、母、老、馬、ト、電、報、下、リ、貝、舞、ノ、後、電

香煙のしづかに降れるあかつきの
 静かなる朝の光をみながら
 金子三郎

晴

無名合子、お村
 井、中、村、木、村
 漸

午後三時、川利、湯、天、ト、ル
 午後一時、吉、祥、手、何、久、田、良、三、店、宅、十、八、午後、四、時、全
 中、反、レ、テ、ス、四、時、分、祥、心、余、一、次、五、妙、女
 夜、分、幸、信、三、リ、母、老、馬、ト、電、報、下、リ、貝、舞、ノ、後、電

香煙のしづかに降れるあかつきの
 静かなる朝の光をみながら
 金子三郎

己巳年 己巳月 己巳日

[illegible]

午前九時上丁令三憲^三驛^三有^三西^三帝^三繼^三入^三正^三子^三ヨリ^三而^三皆^三ル
 午後武野^三半^三夜^三田^三子^三典^三夫^三右^三面^三他^三メテ^三庄^三ノ^三而^三親^三ヲ
 告^三テ^三差^三良^三父^三母^三ノ^三スル^三美^三我^三ノ^三大^三リ^三理^三由^三ヲ^三改^三明^三シ^三生^三母^三
 対^三ス^三心^三得^三方^三ヲ^三訓^三戒^三ス^三其^三夫^三唯^三唯^三ト^三レ^三テ^三之^三ヲ^三諫^三リ
 同^三棲^三政^三子^三幸^三ノ^三介^三キ^三入^三其^三籍^三ノ^三右^三無^三ヲ^三礼^三シ^三告^三介^三入^三其^三籍^三ヲ
 見^三合^三セ^三吾^三人^三果^三シ^三テ^三家^三庭^三ノ^三人^三多^三リ^三可^三リ^三而^三上^三ス^三ル^三ヤ^三否^三ヲ^三見
 座^三ノ^三判^三斷^三ス^三可^三レ^三ト^三ワ^三ト^三ス^三世^三夫^三之^三レ^三ヲ^三ス^三終^三テ^三政^三子^三ヲ^三
 引^三見^三ス^三無^三以^三子^三別^三ニ^三氣^三文^三ノ^三婦^三人^三ト^三ハ^三見^三主^三ケ^三ラ^三レ^三ズ^三六^三時
 半^三端^三迄^三
 ハ^三時^三半^三ハ^三个^三代^三ノ^三座^三ノ^三母^三キ^三藝^三者^三ノ^三端^三リ^三ヲ^三見^三柳^三ス^三十^三時^三端
 宿^三靜^三不^三花^三合^三行^三

月滿○ 曜月
分六十四時四後 巳巳

[illegible]

第十一時分社
 三宅川、山岸常好、喜任、付亦解り
 三善針葉会、廿三、飯坂炭坑買収契約調
 印ノ報告アリ
 午後一時、社長及下面会大に製糖、用大に責任者
 各令二カ方、相談スルヤリ
 午後三時、半九、五、六、直田、下面会、田中、中井、矢
 、如、五、万、事、少、リ
 四時、久奈、針葉、業、三、介、ヲ、訪、テ、今、夕、名、義、ヲ、整、テ、み、よ、子、ノ
 肥、主、ヲ、三、介、子、テ、婦、宛、書、目、寄、リ、整、理、ス
 八時、四十五分、汽車、ニ、テ、西下、直田、貝、送、リ、来、ル、後、合
 所、會、シ、衣、ト、テ、薩摩、年、令、多、數、一、室、四人、宿、シ、若、ク
 味、フ、田中、二、宗、八郎、又、與、干、干、金、丹、全、集、ス

月二日 巳巳
日九 十

晴
天

卷之六

南工令茂復新田
議大父顧門送迎舍
仁孝未幾于後六年

午前八時二十分下ノ席着及座、忘帳、金庫、連中
へし若松若松及座及公前直、若松、計十(一)時(二)
今、第百六回不重役会、列席、松平社長ハ岳父
子齊井上源軍元師喪主ノ為上宗貝島太市七亦病
氣ヲメ兩代父席ニ麻生金子大倉吉田他及氏等
也席饅田及畝人、説明ミテ議事ヲ進行三時半終
全知シ壽三ツリノ来信ヲ受取ル
三時半十分中村公金道帰用夕園司、午後上岡瑞
田中村其他、活火ト会食ス
柳島傳(女)令鬼夫人ノ死五河千枝之、土敷文正
云々、午二ノ予同ヲ電送ス
壽美花明日(一時五十分別有着一品電報ス

清邊の蘆草昆布のむらがりに
懐かしいかな春の月出づ

若山牧水

(二治明)も定を法羅戸でめ給 (元秋安) るは捕てしとんぜ投に鑑米陸松田吉 (一一政文) る生臣國野平 9

月二日巳酉
日十

晴

暖寒

國大憲正 肅 萬山先
子緒脩 擬 潘 允 為
中央軍 丁 丁 後 五 時
相 島 夫 停 鐘 伯 斷

朝九時至司港町來所十時存為上岡増田中村、
 浦氏、所成ヲ変ケテ時羊内司亮判府、同、
 一四時歸還船父長三浦美登氏、判府、歸ル、
 會合中平為メ、無聊ナラサルヲ得タリ一時五十分判府
 着壽美貞子、仰ヘラレテ鉦川別荘入り久振、テ
 鉦川、母、町面ス壽美モ思ノ外天々ナルヲ喜ブ
 此日釜川、到ル頃三リ兩ケシリ降リ別荘、入レ、及ビテ
 李降リトテリ為メ、外セズ

山村の郵便局や建子の雲 巴子

(三一出明) 明 登 鏡 田 村 (三應正) 飾 落 獨 皇 上 草 深 後

王事俱樂部内
 沢谷白雲友及政子
 代表金部長瑞辰三
 女男共并、随行新
 得千巻金新

無題

晴

午後一時半壽美反夏十金道自勤率、予依八幡、
 未福ス日出豊岡土野下山鹿ヲ短テ予依、到ル星程
 十三里往行竹時前ト十分日ハ旧木下、領地下車
 其城跡ヲ訪フ海岸、嘆ス今學校敷地トナル下山
 鹿ハ馬山金山ノ如ナリ(補遺)
 予依八幡ハ三十三年前余柏木勘八郎(其時次郎熊)
 ト金道未福トシ、アルモ余、花腹スル、然ハ全然、大除ト相
 違セリ社殿ハ表出樟ノ大木、風マタリト思ヒ店タレモ不
 社殿ハ白木堂リト思ヒ外朱塗トシカモ三股併立セリ
 犬福道橋内ナドモ全リ花腹ト異ナリ
 鳥居ハ木モ古キモ、後ハ杉ノ時代、連テラズ、後
 川畔ハ倉ノ領主細川忠興、妹婿木下止後、竹履
 カリ南木木下家(日出、城主トテ、寺トテ、理ヲ加ヘタリ)云フ
 朱福ヲ終リ壽美貞子各自紀念ノ楳影ヲナシ茶店、
 テ休憩立時十分卷七時返帰宿マ(補遺)

〔書本〕
卯巳

日 四 月 四

月 二 四 巳 巳
日 五 十 二

自部		自部		無 限									
				無 限									

月二朔己巳
日七十三

信	要	信	救	氣
---	---	---	---	---

是而

暖瘰

高島心視

江表亭記

マニラ

「飛行機」 富さへりいせんとする一節に
人仰がすばさびしかるべし
土岐玄學

101

(一三拾九) 才贈進を位二從へ行正禮 (元政安) 上 炎 居 皇

明清
分二十五時三

分二十五時三傳

全
展

信	變	信	設
---	---	---	---

晴

暖 差

造作必具令

蓋雖久、疾以社、

高島文會行

松本富子樓

○ 499

図の本や笹目和を抄にけり
得 川

(六二四) 定制關戰之士博學 (九德明) ず行發を註目官秋太 (元政安) ず起を軍海惠向井永

103

[illegible]

正午火葬會
土庫セス

十時半々社倉庫會社主役會、監席
午後青木氏ヲ佐テ中外商業社、余ノ京東京ニ復兵ス
鈴木富太郎氏未訪、未訪ノ趣意ハ麻シ其竹男ヲ訪内
言振瑞吉氏未訪川橋キ夫村工場ノ倉成未訪
連年井張キ臣ヤシク觀極ノヤ言明ヨリタカ三招得
狀未ラザルコト以テカ友基手氏ヲ介シ商工省ニ問合セル処顯
二等以上ノ者ハ当然本會ノ資格アリ又最早公會ナリハ
取扱ハス式印藏ハ申ヤツキ自去月末迄數ニ積蓄アリト
アルテ式部職ナリ格付狀申支來トリ亦未檢一依ハ常同
義文ナヒトリ手ナリ身分ノ變化ハトシダ然レ及フモノト禁止
限ハス可レハ赤レニ變ヘリ
此將辰五時迄

夜半臨時羊頭強震ナリ

辰巳 年甲

文政審議院事務
会 午後二時三十分
文相官邸

夜未雨ハ止ミ暖来ヨ雲天トナル
十一時止社理事會ニ出席ス
鈴木富士作氏十一時半来訪六十圓ヲ援助ス
午後十二時四十分永原理事ヲ招キ使用人午芝及
貴典相見テ午後四時三十分ニ歸ス
会一時半文相官邸ニ於テ文政審議院金持別表
自會ニ臨ミ中學校令改正ヲ一様、二種並ニ
案ヲ對シ檢メテ反對ノ意見ヲ主唱ス其後中
大ノセンセーションヲ惹起セリ四時辰巳帰宅

辰巳 年甲

文政審議院の事務
会 午後二時三十分
文相官邸

辰巳 年甲

十一時止社

社長ヨリ貴洋上葉送付件ハ貴社理事身
上付託アリ右付青木氏ノ意見ヲ聽キ貴社
ヨリ親シク見テアリ
今理會中ハ會合ニ付来月下旬高輪御使用ニ關
シ社長ノ承諾ヲ得タリ
来訪中ノ是松準一ヲ三宅川高幸會合ニ以テ合セ新
泰成天祐ヲ来年協メ近き所ニ於テ社度トシテ
備ハス議ヲ得セヨアリ本件ハ青木氏ニモ全意上
ナリ是松ノ買入レタル田地ハ約百八十町歩遠近
都テリ此等ノ行程ナリ故ニ獲時ハ必ス返納ナリ
世時返納天祐ニ對シ二三士ト談笑後ニ其ニハ時
半歸宅大面盤ヲ候リ

文政審議院の事務
会 午後二時三十分
文相官邸

辰巳 年甲

辰巳 年甲

四 月 二 十 二 日 孔 子 祭 限

晴

日仁金銀竣工式（明治
餘事所共）及午宴會

新

三

而晴に及ばず十八日
田島ノ使未レ陸石小督ノ命ニ當テ百廿松五匹ニテ
購ニ他ノ一縷取ル所無ク至齊衣島ノ二福ヲ返ス
キ後直田全道進参ヤノ親元ニリ贈未リタル物ヲ贈
ハ樂贈、夫母子有ニ錦金桐島成宅、上齊リ予
妻ヲ表シ要、其樂與我同ニテ因ニ是日大ノ筈
凡其他ノ責立テ視壽美、乃メ指張セテ個ノ
計百八松圓一ヲ贈ビ六時送歸也

社會の今日

春深し山には山の花咲きぬ
 人うら若き母とはなりて

四四

(元治男) 建興社神川邊 (八九八一) 姉岡争義西米 (六六七一) 十通通を圓困太路里の大倍三球地

116

氣經

三
二
一

卷之九

丁卯會

丁巳年

福

東昌海上樓全友聯

役令于前土何

文政審議會特別

香山人

午後一時半より

石に飛ぶ孕み置や春の草　露子

十一時也社前東京海上保茂ノ保合、臨々東京垂茂
十二時也社

午後一時社長卜卦談

全羊文相如、於今文

才一程、才二程、区别在于高调とタビ七、余は程をた

トタリ坐内ハ余一之を見、極下、不モノ、斯ナク、
時

良去婦宅

午後八時過新茶架、松花江會、臨山、幹事、八田

平翁相、又索畫、因、再賦暮年、金木鳥書、淺野氏

三
二
一
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

晴	晴	晴

晴

晴

晴

朝ま祥寺ノ小林ヲ掘キ家ヲ買井ノ給料斗百
 四拾圓ト植木買入貸金六拾圓ヲ交シ今時ノ小
 地外ヤ中ノ生ノ給金ヲ更ム
 午後築地五十八戸ノ地ノ創ノ田甚合ノ臨メ旗
 色面白ナカラスナ時出帰宅此日五言者リ近者

晴	晴	晴

晴

晴

晴

昨夜ミリケシク不心地ナリ今曉ハ暗ナ此系雪ニウ取
 ン更ニ九時半迄ハ入タリ汗衣ヲウハラス稍爽快
 ナリナ時ヤ社
 牧山岸西代茂士未ニ面会ラ他日ノ期ス
 松田製鉄常務所 鋸島是松田氏ヲ連シ未ニ是松
 田時十五分一橋集士会報ニ其ナ斯文会伏男大
 定殿下ヲ送リテトシテ奉テ奉テ、創立五十年ニ
 合ギ、市面合式無、列ス市面ハ八九十歳ノホ
 沃子八十歳ノ青浦伯七十歳ノ三宅米吉氏等ノ余ノ
 親知ナリ四好遊辰出帰宅

とだいつ山とる街をまよひ行く
 ながも夜明けを遠くへみればな行く

土江 誠

晴	雨	曇	霧
晴			

朝大時十分毒美婦着青来京驛へ相件フ
 十一時出社途次即組合任文子自仁張面談合氏より各
 午後一時社長會女面合後速者トシテ一葉諾ヨ得其願
 示澤千及御相談後、面知も願末ヲ腰取
 本社直、石次子社長、付へ引次子白仁女未社を茂、面
 午後一時社長、面談日露産業社来付、相談スル知アリ
 為メ、支取審議會、七席ヲ具合ス
 午後五時祥光
 令期山本農林大臣秘書長ヨリ、電達面合セテ、合示致後、改
 己來、莫ハ、三橋信三女推挙ノ旨返答
 宮田實、視察巡ミリ、整、官、職、其、金、増、加、依、頼、其、面
 来、之、リ、振、込、金、付、金、十、千、二、千、五、百、元、付、ス、カ、キ、三、千、五、百、元、依、頼、

相談は付かばせめてみよとの
 是の見ゆる日もあるべし風月
 小田原一

晴	雨	曇	霧
晴			

十一時出社
 酒田要相公来訪相件フ、錦水ニテ午知、合、氏
 金取、文、太、大、利、之、而、人、来、訪、工、場、整、理、ノ、為、不、用、機、械、
 移、動、件、并、ミ、ヲ、フ、セ、ヨ、ト、機、械、一、台、ヲ、五、千、圓、給、回、割、知、
 手、購、入、相、談、アリ、ヲ、フ、セ、ヨ、ト、ハ、収、支、計、算、ヲ、見、タ、リ、上、述、之、ハ、
 シ、ト、千、五、百、
 午後一時、所、在、機、合、社、宣、授、会、ノ、列、ス
 午後一時、所、在、機、合、社、宣、授、会、日、終、途、業、校、助、
 為、新、九、六、百、万、圓、貸、出、件、付、相、談、ノ、末、暫、時、半、
 件、ノ、推、移、ヲ、待、テ、其、方、ノ、決、定、ヲ、決、定、ス、半、時、
 會、合、
 本、屋、地、地、部、長、ヨリ、相、比、普、通、新、本、費、(四、千、五、百、圓、)
 主、力、同、市、員、職、丁、内、五、千、圓、寄、附、申、上、ア、リ、タ、リ、ト、述、テ、タ、リ、
 三、善、針、葉、合、長、ヨリ、錢、本、商、店、分、店、(一、千、五、百、圓、) 産、(一、千、
 本、生、太、太、氏、會、合、宣、授、会、ノ、列、ス、九、時、退、出、

甚だう快いて空後の機知し 柳山次

月四日巳巳

國 際 聯 盟	國 際 銀 行	國際聯盟 保險聯合會 新	國際 聯盟 保險 聯合 會 新
------------------	------------------	--------------------	--------------------------------

晴雨

師會の全山

十一時羊女社

三好重幸ト淡西鐵道ト聯席シ市吉氏身上件
ヲ保護ス

四時景土煇安金次九日美行銘喜喜立立
客看華吉歸山春雨大陽子贈子代金百由松

大兩為吉祥等行以具合入

行とどぎすくろみ若衆の聞つづき
小僧に慣れし家のこひしさ

肉其體也

盟会

[illegible]

雨

1

朝九時、羊荷相府印人、赴キ、延番才三待列、奔馬
合、列シ、天策、右策ヲ順議ス
十二時、出社
今春成文、本成ヲフセ、ト一台、取支、具積書、持来、
小松付、一節、女、芳州、針、区、買、依、頼、カ、未、訪
鞍山、耕、藏、岸、衛、兩、代、淺、士、朝、耕、新、分、件、ミ、未、訪
無、煙、炭、山、繭、校、付、三、麦、攻、野、ノ、件、ヲ、面、責、而、後、ノ
注意、ヲ、預、金、ハ、ム
午後三時、羊、間、平、屋、田、田、放、能、僧、技、巧、房、ヲ、奉、シ、生、金
俵、陰、限、合、ニ、赴、リ、謀、合、ハ、松、平、某、治、成、ナ、リ、女、耕、郎
ヲ、伴、ニ、族、妙、来、ル、新、郎、ハ、正、成、ノ、異、子、友、ナ、リ、四、時、合
衆、ミ、リ、五、十、分、ハ、到、リ、合、友、ト、談、叙、辰、ヲ、共、ニ、シ、十、時
歸、宅、此、日、從、弟、ノ、僧、錢、ノ、列、ス、ル、メ、ト、族、ヲ、正、手、解、散、ス
街、燈、カ、火、リ、左、ヲ、見、シ、五、月、雨
左、何、以、

左何

うばやうはおれはへそから生れた。火の付いたやうにお七は逆ひたがり。

晴

未久通定殿下

午後五時合費五圓

合費所り合費合

午後五時合費五圓

午後五時合費五圓

午後五時合費五圓

十一月十一日

金沢文太公未訪

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

午後一時半合費所り至ル

于前十一時、社

青木亭記之亦今日三子之初也

丁卯合五竹竿、三上前田
竹竿、木川、藤井、竹竿、

請

余興盛り沃山ニテ少く味セリ十一

時婦亡

青螳蟬葉蒲一想光一花一金一百一因一子一送一金一天一會一公一浴一後一主一

人ヲ輝盛ニ送り来リ全額ノ銀々積アリクニ為ヌリ

たをよめが爪鉋きすれば草の町
雨はらくと降り出でにけり

松島局

雨はらくと降り出でにけり
松島 岡外

松島外

(元元延)死戰家嶺島北 (同)ち入め攻に倉津貞義田新 (三弘元)す親自時高篠北

148

予知領并類似施設
主任者不適合

文正日卜廿三日

此日須何處齊哉金百圓子送金云金氏後
人輝毫送り来り金穀金積り金為より

たをめぐりて、
前はらゝと尋ね
出でにけり

松島

10

十一 寺 四十 分 七 上

高きは下きを以て基となす
高きは跳しきを以て木と爲し

老

時羊社長ヨリ 郵船社株室内者持株松

珠（斗十四佐）ミナ府代リノ相漢中ミルヲタリ内

年復（時）孟紹合社重役合列

強而重下り

三番針金会長洋行裏三ノ中セアリ
松村筆太郎氏大付三番針金命家養手示

奥村理丰 司 田 鈴木系 帝国人 箱 株 新 旧

三十一五株白銀三リ
引度申込アリタリ
四八目下

佐友商幸 常 好キ アツソレエーテトト 精進

設主交渉件に注意スル如アリ

千石四日矣。美作未立。金龜丁介。立云。

—

149 (五一正大) 名六十四百書死發郡大信朝卜 (三久文) 予原礎を編置供遊長 (二仁弘) 予卒歸村田上殿

[illegible]

晴
張塞

日夕卸船抵合之後
斗時
帝國水涯救濟會
(合共松子酸毒) 章
林合館主周士何半
天政審設合持別
齊與人合立期九月

朝九時文相會卿、並キ文政審議會特別委
員會、列席、十二時半退出、本社委員会ハ十
後モ希香談ヲ候行、右
社サリ、室四有、持株、卸船新株、金部、(兩三)万
株、味武松、キ明、キ十、キ一、肩代リ、実、稀佳、
運、空リ、タリ、而、キ、タリ
午後一時、針葉會、社、堂役會
午後三時、卸船會、社、聯合會、桑、葉、平、味、白、仁、氏、社
長、辭、任、ヲ、奏、表、ス、後、任、ト、シ、テ、各、務、進、出、氏、堂、役
會、テ、確、撰、セ、ラル
三時半退出、下、基、池、ノ、端、ニ、リ、本、以、通、リ、ヲ、壓、テ
葉、鴨、ニ、到、リ、女、母、ヲ、貝、舞、フ、本、月、端、午、ノ、頃、
ニ、リ、處、ニ、越、年、シ、タ、ハ、ラ、夕、キ、タ、ル、為、メ、ナ、リ、異、世、ア、レ、バ
直、ニ、霞、渡、キ、リ、異、々、モ、申、置、キ、貨、賣、數、ノ、大、俾、ニ、モ
能、リ、巨、金、ヲ、賴、ニ、置、リ、淺、キ、明、日、運、歸、シ、合、伴、ノ、皆
五時帰宅、青美、宗、月、氏、在、ニ、到、キ、由、代、リ、面、會、

事、此、ニ、レ、キ、所、ニ、テ、モ、人、知、ラ、ズ、シ、タ、ル、人、ナ、シ、
故、ニ、セ、テ、見、テ、知、ル、日、ハ、未、タ、リ、ナ、シ、
關、西、南、石、新、刊

晴
三度便衣部鼓
清命島
馬輪百目録

期十好吉田八郎永是夏前、面、及、停、蔵、秋、景
山水、手、信、子、三、百、五、拾、圓、一、千、圓、
午後四時、羊、高、輪、岩、岸、卸、到、リ、男、丹、母、堂、百
日、余、一、度、香、不、壽、美、全、道、十、五、時、四、十、分、棉、毛
今、夕、玉、野、茂、田、復、次、市、成、り、但、馬、一、初、結、う、結
一、部、十、井、上、候、丹、丹、送、ル

伊藤屋太郎

いちむくの鑑真に思ひあつてゐる
源真の影映りなしかけり

伊藤屋太郎

晴
三度便衣部鼓
清命島
馬輪百目録

午後十一時、心、合、社
午後、一、時、大、に、習、禮、奉、件、信、来、書、件、社、大、ト
不、談、不、主、青、木、常、々、河、原、引、係、日、露、送、業、
来、及、デ
午後、四、時、直、出、既、見、三、七、川、云、成、ト、全、業、山、口、
初、ラ、催、サ、レ、タ、ル、能、見、大、全、舟、会、ノ、招、合、々、信、々、
一、先、々、基、成、依、見、破、し、三、七、川、ノ、精、ツ、負、心、同
宣、仲、次、ノ、満、疎、輝、十、十、鈴、環、リ、余、此、で、リ、食、
リ、一、書、建、ノ、十、ガ、リ、高、ニ、興、ス、十、一、時、帰、
東京、公、表、会、病、改、建、業、費、ノ、内、金、き、今、園、也
ナ、系、所、即、納、ス

古の鑑真に思ひあきへけり

[illegible]

子刻十二時半 吉符季ヨリ出
赤辰星節御成衆清ノ白可集於前基臺所付云々、
凡量利五十四圓ノ内ニテ万圓七圓并ニ社長、顧問依
頼ハ件ヲ社長、活シ顧問某諾ヤ資ハ三井ト沽
合ニ其額ヲ定ムル計ナラ得之レウ青木常務に
移ス

午後三時 社長青木氏ト共ニ新築自働車カラリ一
ヲ見入ケヌ

四時半辰ニ出帰ル

午後梅田澤氏來訪引見ス

山本農相ヨリ電達アリ来洋言奉ク午ニ在奥
村理事ヲ明日午後六時農相ト会見ノメ去省
セラル事トス

橋本中参事及節武氏夜援會ニ出席ス人依頼ヨリ

六月二日(辛巳廿四)申込ム

出版時間：西曆二十四日
六時五十八分
月出時間：西曆三十一日
前夜一時四十八分

氣 濁
量 少
暗 寒

ルイ、ブレンナム天幕
音楽会日仏会館
午後五時半より

午向一冊番美ト共ニ吉祥手ニ赴キハ附手梯也
行會ニ寄リ牛込三股所ヨリ相合セ奉頭ヲう合
奉ス
本月十二日 肥後工藝會所合し會入シタル附番五五配
奉アリ

赤い入日赤い入日ときりげなく
宵の子ゆすぶり廻る草履

若山喜恵子

五言今古

晴	晴
法	晴
記	晴

南唐會征傳時重
役金計卅三
注濟蕃漢令保金
首相友即後一併
干

午前十時、市会社臨時室役会にお集り、大工刻、糖焼
か、川餅、山岸、常、餅、頼、露、行、事、ト、川、庄
日、露、達、業、貸、金、件、々、計、議、ヲ、進、行、し、今、暫、時、模
作、ヲ、鑑、定、ス、ハ、ト、シ、テ、之、ヲ、社、長、ニ、申、告、シ、置、リ
午後一時、半、注、清、高、次、会、に、臨、み、省、相、代、理、ト、シ、テ、中、橋
副、会、長、成、枝、ト、リ、公、債、整、理、業、々、々、知、本、員、長、ノ、説
明、アリ、滿、場、妥、談、ナ、リ、可、次、ス
三時、面、会、社、今、朝、三、三、川、南、主、会、長、室、役、会、ノ、一、致、告
ノ、件、ノ、陳、述、シ、三、三、川、不、在、付、萬、橋、常、務、注、意、を、知、アリ
當時、三、三、川、五、十、六、ノ、於、ケ、ル、國、庫、名、合、ハ、三、十、時、半、締、切
今、朝、十、時、井、上、貢、下、神、八、三、リ、エ、ニ、お、集、り、在、
於、其、ノ、大、席、一、々、初、夜、ノ、夜、礼、ス、云

477 (五條文) 名百四死崩水大川田隅 (元龜元) 聯合川轉州江 (元化大) む定を讀年てめ給

暖寒

父政審評全平前

十冊 佛理寶鑑

宋京師上取佛僧人

午後五時三十分

臨川集

農相面談

丁卯金午復旦

韓子用田例田

錢村山下板津

諸

士會の今日

古木は焚ゆるに宜しく古酒は
飲むに宜し

200—2

實證

暖寒

五柳堂校合

清江會常盤

千夜記

青銀行金茂

得百餘印之後

時

經清高祖命元生

說
石葉
癭
瘡
合

新

蒲田松木表明

聖學傳存金
其後金會館正午

細支月三、時辰正、

畫繼せし兒の枕邊に人形を
買ひ來てかざりひとり樂しむ 石川啄木

衣己

己巳年四月十五日

[illegible]

氣冠
五

暖室

社會全圖

面しかめ面しかめても青梅の
酸ゆきをあはれ言たてゝ囁む 蓬田空穂

(一四同) 〈迺步飼田木國蒙說小〉 (同) 奉發令校碑等篇 (七二拾明) 鎮占津天軍合聯

月五期巳己至夏日二十二月六 月滿○ 戌戌

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

臨 政

晴

經

日曜	四時二十五分	六時	十四時十五分
日曜	七時	六時	九時二十五分

十四時十五分

社會の今日

草の戸にすがりて成れる胡瓜かな
余 石

(八二拾明) 歸同府督總漢盛 (二八元) 死戰忠重山岳

180

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

195(二和昭)す表儀を兵出次二第め爲の備管面方爲青府政 (九同)止廢製土博に畫圖ノ式正 (七正大)るき親統帝京國都

(二和略) す念書を濟教所記通越川府政 (五治明) づ出令止傳行領誌雜軍新 (〇一化文)す叙平君生誦 199

Wife

伏見宮殿下口

飲食水交社立則士所

子合还
清

五竹 而舊未獲謫會平後

①全集の系

午前十時半止

今十一時三十分芝山內水交禮社元寧下海所覽元

會可及也

第一持經終行投下見了才發會六余

来以元帥、軒越中、乃介之、銀介也、凡口致、幸入

文鎮堂中飲醉，
賜了一兩半，
退之，
社

午後五時半一條又舟舫、初九日萬葉聽摘會、

土庫不井上痛養灌師外乎臣 崇木、櫻山、龍

番美興リテ改メ云う者マシキ疾ハル迄木ヤハ

(陸軍大臣)ヨリ軍務士氣を振ふるに日露戦役

美例ヲ少リ 淫靡、場合白日ノ許シ、落伍者三命

夜間、我將、座、スル、五、令、一、思、ヤ

又士多ノ要ノ場合ハ其ノ兵モ役トシテ下
陸艦連戦ナレバ幸運ニノ降ム スベクテニツト

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor creases and discoloration, characteristic of old paper. The left edge of the page is bound, showing the inner hinge and some stitching. The overall tone is warm and off-white.

停車場や盛衰する廻廊子

千前土何堂社成朝士好年良一仙台ヨリ上京今夕

女子大進入學中、妹全進京都、高知、辰美子

卷之四

午後四時辰上精氣和服後又知痛氣軍曰合食以

一曰南齊書曰金（帝）吳太

一二宮室乃
一五石大仙（應三弟）

一烟後六
一林桂少收吳陳手部

示
不
國
師
方
收
館
卷
十
新
一
古
莊
幹
郎
名
元
正
莊
國
大

小川恒三 力 不復圖矣

力名皆元所元校元下元百元無元方元摩元天元

欠帝主人補也
所賦、依六却
而中归及與

村、赤井、齊、乃、山、内、六、名、ナリ、主、名、歡、又、八、十、一

時漸リ返席ス

晴

五十度

晴

日會の全

高知市の朝風一寸に露なし 月 丹

社費分
午後二時 朝風 川打 観成 帯 独 取 所 件 長
津口 水 龍 井 石 炭 洞 他 用 スル 朝 風 及 エ
午後五時 築地 五十度 於 此 宴 席 心 三 十
時 帰 宅
青木 栄 雄 氏 莊 清 夜 氏 帶 同 来 リ 莊 氏
鎌倉 口 飯 塚 氏 等 全 件 以 限 談 ス

晴

下村

晴

日會の全

高知市の朝風一寸に露なし 月 丹

暑き 陰 し 日 中 九 十 二 度
寿 美 今 朝 九 時 十 五 分 茂 車 一 丁 久 余 清 子 丹
上 夏 下 雨 候 ト 葉 山 十 八 餘 川 美 介 利 郎
赴 キ 宿 泊
十一時 本 社 二 十 分 三 名 針 普 東 合 社 合 長 エ 工
シ ア 早 二 丁 茂 車 一 丁 中 央 驛 見 送
午後 社 費 而 合 社 在 清 夜 氏 鎌 倉 口 飯 塚 氏 等
・ 濱 末 氏 三 在 川 百 太 郎 氏 廣 枝 香 久 推 機 美
・ 諸 件 予 以 置
午後 五 時 予 未 京 海 上 保 險 室 役 合 列 席 三
時 予 合 終 リ 予 退 出 共 衆 俱 坐 而 主 齊 リ
夕 刻 下 村 式 予 小 松 祐 義 氏 訪 ヒ 飲 食 會 ノ 趣 志
ヲ 交 リ
社 費 ヲ リ 代 替 ノ オ リ ソ リ ケ ー ト 予 エ 九 大 壽 長 西
川 武 祐 勝 ノ 件 述 アリ

陰	陽	陰	陽

晴

晴

朝九時長一軒子京都より着分ハ午後一時
午後一時仙岩婦
午後一時分ハ社理事会列席
午後橋崎三精より待たれ宗意一併爪
午後眞及銀主書包ヲ社長に交ス
午後美資澤少長官全奉多件ヲ社長に
解テ水ハ為未訪社長ハ昨日通りノ意見ヲ
述べたり
午後一時商事会社ノ室紋会ニ出席
午後三時倉成文太公未社相堂機械買付ヲ
公正証書ヲ訂結シテ注進ス
四時半退出共樂俱樂部朝鮮古陶賣立
ヲ觀テ帰宅ス

陰	陽	陰	陽

晴

晴

日半信清新盟案
酒会 木更木
淡波子夜四時二葉
便条 新所

朝十時ヤ社
正午社長ヨリ資原酒查本々改換ハ付経済
審議会席上ニ前橋トシテ三杯現本々バヤリニ自
介(不村)ヲ指シテ来リシモ此ノ夕トシテ酒下リ合ハ
シテ京ノ道ヲ
工業俱樂部ノ膳推シ助成ニ品日御会ヨリ因
テ近下外合ノ席ヲ祐アリタル現政存ノ三大審
議會打込メ未メノ常務理事会席僅ノ件ハ
未夕其時様トアラスト思フト返答ス
午後三時半電機合江臨時重役会ハエ不午
ニグハス日半販賣店所領ニ付全奉苦月
後ノハ不苦月半有 沢浅代後トシテ合社株主
外有株主共ニ共期期展ヲ四手満期後
十時半に退ス八時半ニ寒衣見ノ一致ヲ見ル
四時半五時半迄

四時半五時半迄

實戌

晴

日出	四時四十八分	月出	前二時十分
日沒	六時四十六分	月沒	後三時八分

昨夜暑苦我衣賦可得不在日炎熱會社
四階より九十方以上上ル

十一時羊出社

午後松村毫太郎氏光村工場上平冬平決洋書

四時平遠出
梓亡
夜介
理
發

己巳年四月十六日

八 月 一 日

當	變	當	發
---	---	---	---

今日會集

2008 年 12 月

晴

日出 六時四十六分	月出 三時八分
日沒 四時四十八分	月沒 前四時十分

さくらと豆の葉ゆすり鼠の歌く
正月はじめの熊る午ころ
小野田銀三

小野田益三

(五一)同)始開焉事設新臺要嶺岐壹據盟 (一一正大)行施制市に道海北 (三一保天)宇筑を娼私邪思野亦

222

月六日巳巳
日七十

日 二 月 八

信	變	信	發
---	---	---	---

第 2 章

嘖

寒暖

MD-5000

風鈴や復習の子によく鳴れる 瀧 月

于前十一號中社理事會主席

今世享反社革命恨後淺野校長并

三才之序
說明

其集傳在部 前田古展是藏部(志部?)
花生 松武丹 四十式ニ引(取ル)

午後四時同出歸宅

223

(七治明) く赴に國清通利保久大 (三文元) す段實鬼島上人傳

晴

鐵 寒

明日壽美安山ノ外日未拜候者然リニ忙シ
テ斯レ所藤野松九郎氏来ル本門改宗及目李
親離ノ家屋振葺更テ依頼ス又後書ハ奥八雲
ノ書通テ引出スアリ
赤坂章氏等々ノ金次郎ニ合ル明夕長教ノ合伴帰
府ナリ旅費トシテ拜礼圖ヲ拾フ

晴

隱天

午前十一時、本社
社長ト対談
午後奥村達幸ヨリアイデー長津に調査中ニ
対シ社報ヨリ野田氏ハ急電ノ來文并ニ東洋
小笠原待權アイデーニ及リ、爾シ東洋内相ヘ内
會ニ談シ、櫻井ノ爾シ勅告セラルル如アリ
四時退出、柏木嘉八郎氏ヲ其地、林病院ニ見
舞フ、服部ノ難ヲ生シ切、餅ノ必要上入院ニタリ、ガカ
メナリ、注品ニ長所、退院近キナリ、病人頗ル余ノ未
病ヲ言フ
本日ノ会合新長松ト思フ、外交院ノ昌温リナリ、石
乃、四面晴敷相ナスト時、羊澤氏

月七閏己巳

[illegible]

晴

證 寒

十一時廿分七社

社長ト面談 社長明日午後三時 箱根へ歸る
計理士ト兼武外遊 今職氣ト来ル
金井茂文太成未訪
鮎川美介 端京 未訪
午後四時 辰玉 端充

ハンモツタに沈みて春を過したかな 異生

月新 ● 曜月

[illegible]

晴

證

今秋血戰一決車中勝負未可知也
及初十伴相振別師向七屯立
十一時中社

朝鮮に於ては、昭和親王と、併置其他の親王
とありし舟越親王が會長となり海軍水師部長
と見えたりなり

野間ヨリ會社に対し先日、往來を許しエター、
長津江湖金ハ敷方何等取来セラル可キモノ
モ市矢有ミ確メ會社及主入リシト来電アリ

四時半辰五船田一雁バト地田ニ降テ勸十林所
西人ヨリ馳走ヲ受リ又日而更ノ飲食衆民ニ答フ
ト云ナリ末宗チ觀者ヨリ招カレタルハ之レヲ以テ

能トス晚餐後三人ヲ伴フテ金田中ニ至アリ
花ヲ買フテ之ト酬エ十一時歸宅

あめつちの青く盛れる河の邊の
堅固に果を守るよしきり

老山歌本

八月十九日 巳巳國七月初五日

噶 瑟 噶 瑟

卷之四

春日ニ赤着衣強し旅の雅ハす七、八、東泉ハ九、十三、又
トダリ綱束知々ニ島々時リヲマリ
秋立ト云余山々春の心地ト云吾を降ト
云々云々

氣がつけばしつとりと寝籠下りて居り
長くも拘をさまこへるかな
石川啄木

(四治明) 布公令刀痕製款 (八和明) 才發祇大人俾 (九〇一一) 胡歸師大教傳

230

月七閏巳巳
日 六

日 十 月 八

土
丁亥

信	受	信	設
---	---	---	---

か藤成男氏ヨリ社友御新米祝ノ可贈ニ枝折所
凡ニ佳又揮毫ノ件ハ京都放丹善助氏来信ハ全
ク松園、梨月、春舉ノ三氏ニ交件シタルヲ梨月ハ当
分不引支松園ハ未年二月ヨリ春舉ハ年内揮毫
スリテ年中未レ相葉料ハ松園也子園以上春舉三
子園以上ハ幸幸田武田、西女ニ限浅取任メラタキ
也幸也ハ
午後四時迄ノ電事ニテ直田下山終京

つき出しの一日二日ははれまぶち。
ねがはくは嫁の死に水とる氣なり。

231 (五一正大)布公令全年便郵 (七三拾明)戰海大海黃 (三永嘉)す火墳山龍阿 (六歲元)す農種西原井

託會の今日

墨子に蘇村の鶴筆かゝりけり 子規

社會の今日

野の何處にと置きわたるかな

暖寒

100

王會の全日

寒 暖

赤き實の落ちたる笹や森の露 油 村

身に入らずして衆の子思ふ
物原雉子

(五一正大)す見發に下該季縣を經切一の前年餘千 (三保天)す 刑 を 僧 小 誠 240

241 (元正久) ぶ 亡 景 義 倉 朝 (二徳仁) 予 亮 家 定 原 藤

高 冠	天 氣	風 向	風 速
晴 天			
午後三時三十分未出夏合ハセ、夜戦アリ 午後五時三十分春千跡一、西風アリ伴に未花今日 青美誕生日、知三人未所にて食卓賑ヘリ			

245 (二昭和) 千波改新勢風國四の薩列那通神屋中置演にて沖開深美(○三船明)千島光原集後(四一水寛)千島門番石又木虎客創

月の下近江の山は雪隠し 雪 山

高 冠	天 氣	風 向	風 速
羊 曇			
ツエペリンハ修理ヲ終ヘ今日午後三時十二分而段ナ 浦ヲヤ奈ス太平洋上ニテ午後九時雷雨ハ雷 過難依キ時間半十時羊た虎ヲ脱シ為メハ 気豪ヲ煩悩セルモ千緩ハ船空ヲ使院スル旨聖 朝ノ新夕ニ見ヘタリ 午前十時明日未出ハ三軒屋道成ヨリ電報アリ			

船日産は金の物と身に活けて
ゆらりと舞し踊の小舟と云

(元船明) 千波目ニ山道新録虎白 (四九八元紀朝本) 千草明孔島島

朝ハ時立分ノ塵事ニテ下山義介親干ハ一浅
事後ル、幸トナリ居残ナリ湯奔ヨリ自高車
ニ乗替九時三十分小田奈桑ノ浅事ニテ十一時
半来京驛着直田ノ玄組ヘテ交ケ直ニ玄社ス
小田奈ノテ内野重九郎付、港合大磯ヨリハ
實其美日本社長瑞田義一氏京込来リ割島
伯ヲ加ヘテ政談、花ヲ咲ケシイワトモナシニ入京シ
タリ山六六十八を浅事ノ内ハ約八十度ノ相違ナ
リ

午後四時半退出瑞宅余次調数ス俊ヤハ義
介ノ一行ト共ニ瑞京入

宙宇中河台ニ至リヨリ

康紋ノ小皿拾客ハ十二
月ヲ送り来ル

午前十時 毒美美介(一) 行ト共、早雲山莊麓、登
リ下湯場ヲ歴テ仙名奈ニ下リ仙境襟ニテ午食
三時頃自郵車ニテ仙莊直ニ公園、丹キ明石湖
ノ野外劇肝竹羊手太ヲ観ル劇ハ六下清心丹宣
仕ノ為ナリ

明日未毎日カケス(鵲)庭園ニ未リ並ブ鳩ノ大サニテ
羽羽美暖ル美ナリ本日ハ今時ニ六羽ヲ見ル

晴

風 寒

朝来聊吟多う催す藤野松九郎公并天々
自宅園内瓦葺棟并い門扉取換費計共
書持来合計金六百九拾五圓金ナリ
十斗時や社

三宅川女より来京モスヒカル 報告ヲ獲リ
午後四時半辰也

以タツエバリン 紙芝船米國レーキハーストノ去存巨
掃着航程書ハテ終日敷二十三日紙芝ノ日敷ハ
十二日ニ過キス自今ケ年ノ時大段ニテ 松林伯園
ノ八十日地球一周ノ満漢ヲタキタハ年ナリ今日ニ
ハ初四日ヲ最短ノ旅程ト思ヒタリ、今以華金
アリ十日間 吾界一周ノ日ニ盡キエテサレバ
一 伶奴を明日訪少や江ノ下ニ云ひ
此等を行概一同ノレニトハ二十四日ナリ

和會全同

山七の目録のいすのち、
解ひるなり諸日の録

聖山教本

晴

風 寒

午前九時公家松田所次郎氏来訪卒業以来ノ
面合ナリ

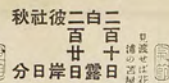
十一時半や社

午翌後奥村理事及半田銀行合此引見
静岡、引新中ノ添畑春吉氏一死ニノ旨子息
鑑一氏ヨリ通知アリ 香典以五圓計入手引申上

四時退去帰宅

小坂、拾料一百圓、吉祥寺注費六百圓ヲ小坂成
、付徳費天七百圓計費四百五拾四ナリ井上
夫婦、共教、後ス

ス、それゆゑ、この日、山七の目録に
解ひるなり諸日の録

[illegible]

● 新月 三日
⑤ 滿月 十九日
● 上弦 十一日
⑥ 下弦 廿六日

涼

いづこより残ひきし青き馬道ひ
電燈の光のまはり廻にナき
何ごとか探ること願ひ聞極る。
汝の身にも感ずる秋の涼もありや。

社凡のまゝ和やうし 鈴虫の啼き
あはれとてうらふふ

君をさぬ誠実やあまの國多き
星に夜寒を覺えけるかな

蘇聯五週年

〔郊外新秋〕（倫敦）夏でも汗の出る日の吹く日もあつて、公園や並木路の樹木も葉に面した鎧屏がいくつも再びひらかれる。ニートに到れば、到るところ原始の儘のやクロバアの咲く草はらに、ランチなど

訂寧

廿一日	各學校始業式(臨時祭典)・大發賣及販賣記念 日・關東學院(東京紀念日)・神樂苑八朔祭
廿二日	鎌倉圓覺寺開山忌
廿三日	八幡入道 寺子有香龍岡山忌
廿四日	富田太田 寺子有香龍岡山忌
廿五日	富田閉山 寺子有香龍岡山忌
廿六日	芝科美術院等の繪畫振興會開會
廿七日	芝科神明院 姜子牙日 麗上人法難會・空也忌
廿八日	康平祭
廿九日	乃木祭
三十日	神田明神宮祭(舊正月)
三十一日	時谷大明神祭 横濱山王祭・石清水・鎌倉・藤倉 崎各八幡宮祭
一月一日	向島秋葉神社祭(舊正月) 甲子 秋名月 牛曾村大權現祭・京都大徳山縁日・中 野子
一月二日	三田子現忌 霜島祭大忌
一月三日	彼岸子現忌 六阿彌陀論(寛政の御忌 日) 八幡入道 寺子有香龍岡山忌
一月四日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月五日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月六日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月七日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月八日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月九日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十一日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十二日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十三日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十四日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十五日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十六日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十七日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十八日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月十九日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十一日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十二日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十三日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十四日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十五日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十六日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十七日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十八日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月二十九日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月三十日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌
一月三十一日	一ツ橋入道 寺子有香龍岡山忌

季寄 時令 露、蜻蛉、稻刈、名月、桐一葉、稻雀、秋の雨、

露、鳴子、案山子、秋の川、落し水、秋の山、初雁、渡貼。
花苳、木犀、萩、薄、蕪、四季落杜若、水引、鶯頭、木芙蓉、
木香、睡蓮、獨笑、龍膽。魚目落貼。ひしこ、かじ
鮎、小かじ、鱧、鯊、唐の芋、ハツ頭、蓮根、牛蒡、蕪菁
きくらげ、梨、葡萄、無花果、柘榴、棗。

外興 秋はまた暑が秋疾いて百花園を遊覧にまい。寒は日に
に送んで、小金井に足花寺附近等を訪ねて野は千草千八。飛
彩られ、富士を背にして、尾花は招くが如くに人を迎へる。飛
山、向島、蜷崎野を馳騁す。翌月に各名所諸人にはあるが石
寺、堅田の落雁と供つて雅致一段と深盛がある。京都神
苑には八幡蔵の神事あり。秋祭盛なり。不動尊の開帳惟香す
六阿彌陀院、二科美術院等繪畫展覽會見たり。都人子には彼岸
後に互つてはゞ盛んに行はれる。

[illegible]

雨
暖寒

昨夕強度下り雨、冷え、催こたへる。今
 朝下り雨、服葉子、おとし、三時、夜、
 外朝、在、泊、林、三、岩、二、女、ヨリ、レ、メ、ス、ヤ、電、気
 事、者、未、介、ニ、夜、ト、機、機、力、ヲ、主、望、シ、市、国、工、者、大
 合、い、ま、市、コ、ト、ヤ、ン、ク、ヲ、レ、メ、努、力、セ、し、ム、ノ、意、切
 人、而、電、報、ア、リ、之、ト、付、武、田、電、気、合、会、長、ト、附
 美、佐、房、山、類、ハ、雅、美、ト、思、ハ、ル、其、合、会、ス、リ
 二、ト、返、電、セ、リ
 松、村、孝、太、市、長、夫、打、工、場、借、金、ハ、九、千、圓、及、清
 三、時、半、退、去、掃、宅、加、養、

大田の島取り居れば、藤はたて、金、花、資
三日月は、平に入り、お、陶、壺、

雨
暖寒

昨夜半、来、電、而、小、上、レ、テ、甘、島、附、近、ノ、森、生、マ、ル
 船、川、ハ、三、十、キ、ロ、速、打、ヲ、以、テ、東、北、東、ノ、進、行、合、
 疎、速、妙、難、ヨ、リ、正、子、午、後、東、端、ニ、進、シ、三、四、時、
 頃、東、京、方、ヲ、模、断、シ、テ、廣、津、江、ノ、市、内、之、レ、ガ
 為、メ、三、基、川、而、ト、ナ、レ、リ
 三、時、心、社
 午後一時、在、船、合、証、宣、教、会
 合、三、時、船、宣、教、会、社、宣、教、会
 三、時、退、去、掃、宅、加、養、
 宣、教、而、為、メ、雷、地、ヲ、濡、ラ、シ、自、宣、事、ノ、立、生、セ、ル、モ、
 百、ラ、以、テ、数、フ、今、年、ハ、入、リ、テ、早、川、水、ナ、リ、損、害
 多、カ、ル、ナ、リ
 武、岡、堂、太、公、未、訪、抵、手、燒、模、造、テ、御、前、ノ、香、合、ヲ
 賜、ラ、ル、余、岳、堂、太、公、藏、今、銀、蜂、須、賀、侯、家、ノ、令、
 三、時、半、退、去、掃、宅、加、養、
 三、時、半、退、去、掃、宅、加、養、
 三、時、半、退、去、掃、宅、加、養、

[illegible]

晴

寒 暖

十一
年
出
社

貝島、水中井上侯爵、病氣、貝島ノ為メ山中ホリ
午後一時、分房ノ汽車ニ上リ、中々、郡下ハ之レノ電車
場ニ到ヘ、全道西ニ侯爵所、御ノ為メ折返シ、一時、平
ノ汽車ニテ山中ホリ、弟リタリ、故リ以テ余ハ、太中、面
会セズ、弟介ハ、返テ大綱、返全行、面談セリト云フ
此時、退出、帰途、福安、六時、壽美、全道、吉祥寺、外
キ宿泊

[illegible]

晴

寒暖

連日ノ霖雨十時頃ヨリ霽レ久方ニ青天ヲ見ル

翁山先生集卷之四

午前十一時十五分出社 理事會列席
午後一時大村工場倉庫文太來社

公三十合照 松本健太郎 松本素行 若松健
会社監査役 敷金十辰ニ付 公役任ニ付 打合不知
アリ 而本月会社ノ重役会ヲ三十日ト定ム
此時辰丑内田ノ井上候御所ノ病氣ヲ見舞フ
末祐三郎氏上京席ニ在リ
五時過 帰宅スル貝島節子ノ候舟見舞ノ
為メ山中開オテハリ 上ニ示セリ 会不 需 吳全人ヲ伴
ニ井上御所ニ帰宅 暇短食後復全人ト共ニ美介
宅ニ参リ 節子ニ告イテ宿ス

九月十八日 九月十八日 九月十八日

九月十八日 九月十八日 九月十八日

九月十七日 九月十七日 九月十七日

九月十七日 九月十七日 九月十七日

月八日 巳巳
月二日 巳巳

十一時、社
午後四時、退出共衆、復衆部、入寺、以故、永田、鈴、心
冬井、ノ、賣、主、ヲ、視、計、表、衆、ニ、示、セ、ル、丁、卯、合、ニ、由、ル、
此、日、心、席、ス、ル、モ、ノ、内、ニ、田、中、前、首、相、原、前、司、居、望、月、
前、内、景、白、川、前、座、軍、ノ、合、大、辰、ト、前、田、米、井、成、ア、リ、
原、司、居、ハ、余、ノ、死、ニ、田、中、前、首、相、ハ、其、又、死、ニ、望、シ、相、互、
困、諾、ス、何、リ、サ、ラ、セ、旬、日、ヲ、ホ、テ、ズ、ン、田、中、首、相、ハ、冥、明、
知、ウ、冥、ニ、シ、爾、後、相、見、ル、ノ、期、ナ、シ、歟、

日三十二月九年

晴
後
記

本日ハ秋李皇太子御休日ナリ
午後一時還リ壽皇公道吉祥幸ニ丹キ七時半
帰宅
こゝに於て鵲ハ天下ヤ秋高し
勇姿見よと鵲稍マテ睥睨し
黄雀ハ芝生ヲ蜻蛉トモハスル
其生ハ下晴映ルト以テ黄雀ハ
ミヤ

月八日巳巳
日四十一

[illegible]

予前十時羊家庭季芳冬、主奇り、男、面
 会ノ上七社
 千後の時、十分長、沢林太郎、万葉、藤、清、会、員、
 賀玉、道、次、成、植、舉、依、頼、爲、来、訪
 公、時、東、京、府、公、事、中、川、健、茂、代、内、名、部、次、大、陽
 鑑、次、郎、次、南、工、会、領、之、長、現、次、長、植、舉、相、談、之、
 来、訪、失、礼、事、ト、談、合、行、無、事、丁、リ、異、談、十、二、日、返、事
 又
 公、三、時、羊、休、田、仔、三、郎、次、釋、太、工、若、者、会、社、金、部、之、所、
 レ、三、度、制、紙、会、社、ト、談、合、之、丁、解、手、取、ル、爲、来、訪
 公、四、時、羊、新、兵、衛、之、所、於、レ、濱、田、次、經、會、長、ノ、日、本、郵
 船、社、長、室、役、各、部、係、長、招、呼、會、合、臨、公、斯、以、御、古
 嗣、次、ト、基、茂、十、一、時、祥、也

水 獎

晴曇	氣陰	陰發	陰變
溫寒	燥	白仁頑口面赤煩勞	抄本
		新田園典歡會	
		千世共傳	
		千世共傳	
		正千乘京合飯	
		俄蘭工大長其山	
		雨	

朝十時 四十分 前子方、於今、商工番後合、臨三十一
時 四十分 七社
十二時 東京合、知、於今、債商相、招集、臨三斗
時 過 婦社
十四時 半 總理言、卸、瀨口、着相、テ訪、ニ面談、
十五時 四十分 工葉、債、衆部、ニ於今、ハ俱衆部、及日本
經濟聯盟、ニ拜、ハ新園、ハ歡迎、ニ招待、ハ會、ハ臨席、
瀨口、依、理、井上、大、赤、債、商、工、三、大、臣、ハ演、説、ヲリ、次、テ
榎、沢、ノ、大、答、ニ其、ハ所、ハ於、ハ十六、ハ老、ハ九、奮、ハ的、ハ演、説、ヲリ、
タルモ、零、錢、ヲ得、ハ九、時、半、ハ退、ハ出、
白仁、ハハ、ハ長、ハ十、倍、倍、ハ降、ハし、ハ特、ハ處、ハ慮、ハし、ハ招、ハ得、ハ收、ハし、ハ送、
リ、未、ラ、ズ、

飯田東、財部
下後、松本、
茶、
下後、工業、
田、
五日、
大、
手、
十、

午、
下、
下、
東、
之、
保、
下、
船、
十、

下、
下、
下、
下、
下、

朝、
全、
因、
十、
社、
下、
別、

日誌	日誌
城中央瀬谷本庄 分帳丁三月十九日 在內帝國土合保慶 合江ハ階ホ一ル 牛込江着手因運船 入山半夜運部場 二時五分三リ	萬葉 皇云而 漢史 漢書

越中軍機

分帳十三日一十九日

元々内帑國生金保蔵
金証ハ證ナシ

牛山居士國運頌
牛山居士國運頌
牛山居士國運頌

今三時許、夜斗り、雲天にテシ、ラニ寒シ
朝十時、羊、柱、赤三、外、遊、婦、朝、夜、妙、
来ル
齋美、石、頼、テ、事、夜、三、回、石、ノ、茶、世、ヲ、意、ナ
、季、ハ、竹、赤、件、ノ、為、今、セ、ミ、ナリ
亦、乃、云、セ、ハ、節、成、ヨリ、赤、々、團、借、用、社、長、ハ、
取、次、依、頼、アリ、タ、ハ、モ、余、リ、ト、度、室、ナ、ハ、付、出、リ
タリ、而、今、時、中、ニ、カ、リ、リ、代、用、紙、料、智、德、金
畫、樓、助、ノ、件、モ、今、時、ハ、断、タリ

[illegible]

來大和少研真室

設置以爲令

錦所製金銀

十二
年

欠席

卷之五

養民改舊唐書卷之三

全宋文卷之二十一

千九百三十九

[illegible]

78

主會の旨

午前十一時、社三軒常務より明後日工合派遣と一
行、族少より千原へ若う妻（取り）訂正ノ上之ヲ伺ふ
候常務長、返ス
午後一時、社長室、於テ日露旗甚著ノ短品、仲率因
於ト共ニ三宅川、高村、永奈ノ三ヶヨリ轉（取）スル知
午後四時半退去帰宅

子

(五一平天) むしせ新造を佛舎置の銀金

300

歩むわが背の秋の日かげと

碧山牧水

(五治文) 上段に川端を經典修具持佐

(元治明) ず恭親を廢基てめ給皇天治

301

日戌戌

十月二十日

月九八

晴

桐野總督存
平野少将次郎
欽一少将
主権國士館

今朝、新子、秋、仙、石、真、(福、家、保、武)、公、省、相、ト、公、
夏、祇、俸、又、否、ヲ、誤、キ、首、相、之、ト、面、カ、サ、レ、テ、不、意、義、
回、シ、京、ヲ、固、メ、タ、リ、ト、誤、キ、見、ル、而、カ、モ、余、軍、
住、リ、タ、ル、ヲ、誤、シ、如、何、ト、影、射、有、リ、タ、ル、ヲ、知、ラ、ス、之、
ヲ、從、周、武、田、雲、々、乳、サ、シ、ト、欲、シ、タ、ル、モ、外、部、ハ、希、ト、シ、
ヲ、ハ、バ、ト、サ、サ、ス、
煙、師、の、末、期、や、初、五、三、秋、條、
龍、膽、の、名、者、一、時、而、降、る、
木、枯、一、二、三、の、方、バ、一、節、余、の、
石、秋、郎、美、景、
夜、半、雲、頭、ハ、十、八、夜、月、中、天、一、點、ハ、リ、

大正の御金閣用本真蹟

(二和唱)式賀祝念記年曆五十四立命寺御大田福厚(〇一正大)し銀歌原神教木大(三政安)ヲ銀福傳宮二(二助大)ヲ銀光義顯 304

月九八

十月二十日

日戌戌

晴

上、方、年、代、千、後、所、
半、斜、人、抱、助、力、行、
合、基、金、(福、子、内)、落、
集、年、八、十、年、前、
打、虎、虎、虎、己、
事、者、更、三、三、三、
三、三、三、三、三、
三、三、三、三、三、

今朝、新子、秋、仙、石、真、(福、家、保、武)、公、省、相、ト、公、
夏、祇、俸、又、否、ヲ、誤、キ、首、相、之、ト、面、カ、サ、レ、テ、不、意、義、
回、シ、京、ヲ、固、メ、タ、リ、ト、誤、キ、見、ル、而、カ、モ、余、軍、
住、リ、タ、ル、ヲ、誤、シ、如、何、ト、影、射、有、リ、タ、ル、ヲ、知、ラ、ス、之、
ヲ、從、周、武、田、雲、々、乳、サ、シ、ト、欲、シ、タ、ル、モ、外、部、ハ、希、ト、シ、
ヲ、ハ、バ、ト、サ、サ、ス、
煙、師、の、末、期、や、初、五、三、秋、條、
龍、膽、の、名、者、一、時、而、降、る、
木、枯、一、二、三、の、方、バ、一、節、余、の、
石、秋、郎、美、景、
夜、半、雲、頭、ハ、十、八、夜、月、中、天、一、點、ハ、リ、
今朝、新子、秋、仙、石、真、(福、家、保、武)、公、省、相、ト、公、
夏、祇、俸、又、否、ヲ、誤、キ、首、相、之、ト、面、カ、サ、レ、テ、不、意、義、
回、シ、京、ヲ、固、メ、タ、リ、ト、誤、キ、見、ル、而、カ、モ、余、軍、
住、リ、タ、ル、ヲ、誤、シ、如、何、ト、影、射、有、リ、タ、ル、ヲ、知、ラ、ス、之、
ヲ、從、周、武、田、雲、々、乳、サ、シ、ト、欲、シ、タ、ル、モ、外、部、ハ、希、ト、シ、
ヲ、ハ、バ、ト、サ、サ、ス、
煙、師、の、末、期、や、初、五、三、秋、條、
龍、膽、の、名、者、一、時、而、降、る、
木、枯、一、二、三、の、方、バ、一、節、余、の、
石、秋、郎、美、景、
夜、半、雲、頭、ハ、十、八、夜、月、中、天、一、點、ハ、リ、

在、リ、テ、文、社、ハ、千、兩、後、ノ、久、滴、ヲ、叙、シ、今、夕、後、隔、リ、方、ヲ、ナ、キ、ヲ、二、方、酒、ハ、口、式、ト、
合、見、模、様、ヲ、不、レ、シ、行、差、見、テ、文、殿、シ、テ、四、時、迄、ハ、學、生、也、
長、春、ノ、文、學、也、

305 (同)布公金録諸位及附位 (五一正大) 布宣位在晴嵐天皇後 (〇二王康福) 壬生子孔

東洋館合正冊

陸	陸
記	記

ウエス午ニクハウス合
午後五時 羊堂園
ホニル 新

万国正音全

帝國不亡
後九時

設
會
議
令
長
古
市
男

午前十一時、社
午後四時、辰巳

午後六時、帝國ホテルに於て、市中合衆、第四帝國工業會、淺
草、東京、歡迎會、に於て、夕久旅り、トオスボン、氏、お会い
又、帝國省、席代表、
代、お会いせし

窓の扉に秋葉の落符や今年木　竹　美

四會の全日

鐵	鐵
記	記

柳巷亭

集

工業聯合會

二十前元時十五分

日竹舎領

子後四所并

張璠官邸夜會

午後九時

今日工業大會、開會式ヲ新築日比谷公會堂、於午舉行

リテ時半終ルモ曉陰モ東ヲ露チテ而ミハトクリ

見合セタリ

午後五時帝國ホテルに於て、御苦節三節式次女壽美子
嬢と儀也外妾長ト結婚披露宴、余は心々全ハ今晚迄
行程知レ能ク改裝ノ事ヲ以テ七時半中堅特等

全、昨、四、府、首、相、辰、地、赴、ノ、所、臣、王、業、大、会、ニ、出、席、シ、タ、リ、

りや到シタルを以テ外賓婦人の物はタヌ様、見合テタリ
余ハ名婦男(小作)ト共ニ大扨牽牛ト對話時ヨ傍シ十
一時婦人(元)為ニ急來事トナリタリ

月九日巳巳

[illegible]

王會の全日

二十十一月廿六社

午後一時、羊王國工業大会、松父宮殿下、ハロウミヨリ新病
ハ英、松侯ハ此日ハ白切符、ヲ新病ヲ通りノ通開内ヨリ入苑
且持、坐席ヲ賜ニ松父宮全妃兩殿下、近ノ茶室ヲ賜フ
榮ヲ得タリ、松列者ハ全公淺邸係者、和洋双方ニテ教ヲ受
ニシレリ、三時、羊辰也。

名余の鈴不陸筆大將(将佐長久)ト相並ヒテ着席前
 兵營米國人ナリ各國代表者ノ座談アリ談合トシテ日本
 研鉄ト英國座リルニ木ニテ盡リタル箱ヲ贈ラセ九時半
 退二所出

345

(五一正六) ろき摩胆相首國伊

(九保天) 亨著を語物抄英長野高

(大和町) 下段洲真茂賀

月九日己巳

$$1 + 1111$$

囉水

[illegible]

曰聖

日期

午前十時半社

午後四時歸宅

午後八時服裝ヲ更ヘ工業倶楽部ニ於テ日暮迄新聯盟
 及ニ茶室俱樂部聯合ノ万国工業大會ヲ列席者歡迎會ニ臨
 ム会スル者十金名和洋両方ノ紳士淑女會合セリ幸トテ母又
 ニ空前ノ盛會ナリバーヤニ茶室設備モ行船ヤ特ニホ
 ール席ヲ設ケタル事トテ何レノ場歟モ羨羅名状ス可ラス
 男々相擁シテ踊ルノ状モ亦一奇觀タリ夜更クルモ知リ
 カレ余ハ幸也シキレスナニ時ヲタケテ歸ル暮ハ亦一時ニ

五樂之

花 魁

(同)す死公徳田永祖閣の懸懸遠心録 (二和昭)(後五十七百軒鑑加参)式鑑親大外港濱横(三二治明)ふ輪し降を語勸育教 314

日 六 月 一 十

晴夜雨

市来改値トカ敷而金

子卜任城按示

帝回光元壽

浙

五國工業金匱要略

會、長壽州
東、長壽州

井上侯爵

【今日の命】

王念孫

五

世界動力會議
奉國內奉勅令主
催于飲食會董事
公報

病

午前九時半青島内田山五
全十時半介人社

千俵當時御蔵に物々奉初日露産葉、次黄金、
銅、銀、穀、件々、件々、日露現金、役連、社、神、長々、御、
々、件々、呈、お、々々、件々、并、昨日、農、林、大、長、ト、合、具、ノ、模、様、
ノ、件、數、々、不、知、アリ、余、ハ、資、金、動、産、ハ、身、奉、者、之、模、
ヲ、具、タ、ル、上、ニ、予、レ、バ、應、諾、不、可、ヤ、助、合、々、ノ、ス、ト、及、奉、

三

石井鳥居坂、御幸社、歌音、社長、今夕、京

栗田神入銀行支店長ヨリ典大信ヲ復信正新

規作製、分斗、通、子、夏、二、取、
四時羊、辰、去、鳥、居、秋、五、齊、子、歸、完、

323 (二和歌) 兼親總兵更關侯町忍玉坊付に題詞繪増 (三正大) 平傾占を島青軍銭 (六屯養) く羅を士博女でめ始

よく笑ひよく泣く若衆人のごと
少しの風にもゆるゝとさすゑす

永見露草

(二和略)胸再遊園二第日七・つ陸遊園球野裏早 (八二治明)印調約條附還東亞 (五永新)す強勢馬亭曲 32

雲小西

水陸政府令長

手止前投烟屋

高野島

午後一時半

午後二時

午後三時

朝十時、本分約、履、下、松、岡、功、千、代、和、郎、子、市、所、外、新、書、記、及、ホ、タ、剣、ヲ、ス、件、ソ、事、格、四、十、分、其、間、松、岡、功、ヨリ、正、金、改、梓、觀、ノ、迄、ヲ、タリ、内、代、金、五、元、分、品、級、視、察、シ、ル、女、梓、木、世、田、及、衆、玩、并、日、路、差、業、ノ、麻、ス、見、見、ヲ、藤、取、シ、テ、餐、ヲ、食、セ、テ、一、時、半、迄、出、社、觀、芳

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

秋、中、や、も、雪、の、目、に、参、り、し、
晴、間、一、二、に、朝、が、う、よ、な、る
尾、田、重、三、郎

雲小西

水陸政府令長

手止前投烟屋

高野島

午後一時半

午後二時

午後三時

朝十時、本分約、履、下、松、岡、功、千、代、和、郎、子、市、所、外、新、書、記、及、ホ、タ、剣、ヲ、ス、件、ソ、事、格、四、十、分、其、間、松、岡、功、ヨリ、正、金、改、梓、觀、ノ、迄、ヲ、タリ、内、代、金、五、元、分、品、級、視、察、シ、ル、女、梓、木、世、田、及、衆、玩、并、日、路、差、業、ノ、麻、ス、見、見、ヲ、藤、取、シ、テ、餐、ヲ、食、セ、テ、一、時、半、迄、出、社、觀、芳

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

△、斗、時、半、南、工、大、臣、安、部、ハ、於、此、南、工、審、議、會、ヲ、特、別、奉、員、會、ニ、臨、シ、命、田、製、鐵、板、堅、ミ、リ、今、如、注、意、上、最、近、能、平、増、進、ノ、模、様、ヲ、藤、取、ス

△、斗、時、半、出、社、觀、芳、後、會、ニ、臨、シ、十、時、半、帰、宅

而
寒

昨夜星散見とタルヨス今日晴天ト思に外早朝ヨリ
小ナリ清リ也と暮美ノ計立し人秋萩ノ咲始ニ
若者抵リノ催ニ停頓ヲ来し暮美ヲテ失物エセシメタ
リ然し午前十一時ハ同司鹿介モ時羊ハ八時田伴保
来リ引張キ近及夫等ニ依ニ人余清子新川み
よ子十伍ニ島中ナヤ子三人来リ新川子等
席著等ノ馳走ニ興シ菊見ニテ賑ヒタリ六時順次
退散ス

松立てもいかなる山の嶺にも
人々や住むるを想ひ立つるも
田舎民平

而
寒

而
寒
午後一時半
午後一時半

午前十一時 田迎夫人 早川房子 道吉 祥子 未訪
公十一時半 出社
午後一時半 高相五郎 永介 一審 沢合 武雄 別巻欠
会、列シ 園内社田所 各々 各々 間々 意見ヲ交換
ス 四時半 退去 某地ノ会合、列シ 十時半 帰宅

某の花に大得意いかなる月 ぼじあ

而
寒

午前十一時 田迎夫人 早川房子 道吉 祥子 未訪
公十一時半 出社
午後一時半 高相五郎 永介 一審 沢合 武雄 別巻欠
会、列シ 園内社田所 各々 各々 間々 意見ヲ交換
ス 四時半 退去 某地ノ会合、列シ 十時半 帰宅

晴

高心明尚藩王侯
心茂 藩令知千
後六村 一人所 漸

京都大別御位友
幹部招待

今夕東京より山内豊政下令候佐備攻下藩ノ宴アリ
夕モ止テリナリタリ
本日午後大宴、改ト三十改ヲ行シト欲シタルモ
任々幹部ノ招待四時ノ夜更サレタルヲ見合セタリ
立餐取、外千井氏右衛門等ヲヒヤカス堂主ニ、余ノ
何者ナルカヲ知得シ又塩水ノ余地ナレ一足モ燭ハス
所未スト存シテ帰宿ス
四時岩坪別邸ニ参リ夫人茶室ノ茶ヲ用テセリ
一腹頑藏ス任々ヨリ湯川ノ小舎
五氏吉音ヨリハ今期三村中入港共合セリ、風ノ
所橋杯盤ヲ用施ス来山月ハ泉水ノ映シ園内ニ
ミタル燈ニ試ハ松楓ノ向テリ赤紅相照シテ頗ハ凡
清アリ湯川女上京ノカメ九時半ノ事ヲ徹ス余及三村
ハ十時半迄逗留ス

和
明
明

一 貴客に、この茶屋より、花 みたし

和
明
明

和 明 明

晴

南上藩令知千
坪別本大令
午後一時所

午前十時社長ノ集會ニテ井吉持来大奈、新支院及三
十院、外ノ天人、三村及モ全行、社長ハ一日日今冬ノ最末
レハモ余ガ昨日全知ニ到リ、極合ヲ遠レタルヲ惜ミテ
以催ヲナセリ新支院ハ、名取ニテ近リ、音無レ
欲アリ又後鳥羽順徳、而後ノ支院アリ三十院ハ反村
ノ山麓ニテ聖徳ヲ干、建喜カリ太子別刻ノ地共
南上平尊トス、尾院ナリ建徳ハ院以年ノ隈トテ
而帝ノ及手家一門ノ喜慶ヲヤス後白所法皇幸ニテ
門改テ省ス白所法皇幸ニテ、河波ノ外三々
ハ、門改テ度ノ山ニテ、四時帰宿
六時兩分、社長ノ集會ニテ七条村らガ、其キヲ婦
三村女ト共、映窓ハ、御食ヲ享ケ、二應帰宿
定テ、海マセカ、送ラレテ京都驛ニ参リ、十時二十分
、汽車ニ乗上、夕旅、舞妓招三々、引手セ
カレテ、松花、歌舞伎、初、为上京金魚、行列ヨリ

鹽米
午庚

白雲

二十日合九里節監處

鈴季 福仁秀坊

海上寧好賢會

地鑄金
所

日本郵船重役會
午後一時

社會の全史

田内、秋成と收蓄する所し、田外は、十枚成といふ積一敷

十二時分紅

午後八時半 聯合會社重役會
 聯合會社一〇〇九 奉安ヲ議ス
 三時半 聯合會社重役會
 聯合會社一〇〇九 奉安ヲ議ス
 三時半 聯合會社重役會
 聯合會社一〇〇九 奉安ヲ議ス

戊戌初日露蒞葉野策于保讓心全女八友順序

一矢ツ庶權確保ノ用ニ付内外共ニ政存ノ証言
得ル事

一、会社を輩う、**牽制**、**傷**、**サシ**、**介**、**報**、**命**、**極**、**立**、**手**、

一、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

農林部外務部大にヨリ淫褻確保ノ聲明ヲ
仰カズ分會合ノ席ニテナシムルヲ相誤ス

立時半二日合心三四三書用樹小交要けて鹿毛鳴くなり山神樂歌

冬近み水廻り寒し大和根の
かなたに遠く山白う見ゆ
大塚新太郎

三
記

老樹新秋半

海軍協會 四四八次

新

正午高輪午餐

アテンツ

午後五時

李延陸軍大臣奏

辛亥年

十時 羊代社 今十一時 十介針葉合 長三呂一二式、綿期

以朝所田成相ヨリ曰吾社故トシ田中清二郎ニ在余

社友今朝寧都ニリ
 煇京ハ日暮産業、用と交渉、頗

三時半高輪卸し
フアールにお礼
スル氏及フ

ツツノカメ(細群)越少侯景上(瑞泉町後也卷)坪月
一 込別ノ午祝會ニ臨ミテ主人トシテアノレヒスルボロシユ

三時半婦社

五時羊一系公摩師、祿々、万葉、獲滿合、云云井上、
外、手、作、胃、性、腹、笑、候、云、汝、大、信、林、中、心、在、火、元、在、進

山内一次、大隈信節侯、秋山文輔、長伏氏、新井朝、
地田成利、食後、未レリ九時、辭去

晴

無名会五竹羊

新天泉市

幹事会宿麻生

似要二芥米代合

午後五時

未見会合 計

井上儀三氏石法

午後二時

十一時ハ社

午後日露産生者ノ町来ノ際社長ト意見ヲ下ス
午後一時羊ノ夜鮮銀協会来訪者分ハ見質
同ノ者書ヲ示シ

午後三時羊御蔵ニ馬男来訪町田義相ト見
常外相列席会見日取ヲ見ス廿五日ノ内外
相ト会見日取ト相トスアリ返事アリ

石ノ知要ノ力井上儀三氏ノ三周目法要ハ廿二時
美己夫会合アリ

午後五時中々介新安樂ハ於今無名会ハ落着
会中日露産生者ノ社長飯補ト見申着二時ヲ
合議道ヲタキ而天村泰太ハ廿二時ヲ退リタルヒ

別其件ハ義相ト見不向義ノ校抄ト見者其ト
白書ト見士の高根を致ハカバ下林鹿カ
カバハ義相ト見不向義ノ校抄ト見者其ト

晴

家

夜来水産ノ寒サノ未ルヲ見
本枯ノ凡五ノ中ニシテ三ノ公ニ
原第ノつものる々朝の白子相

今日ハ社長會アリ
壽美飯田、新大婦、昭レ丸向赤壁屋ノ午餐食
臨シ未賓中人手トアリ

午後三時五十五分冬行ニ壽美会道病根ト見
六時止リ強心症ノ別外ハ入ル春ト見ト見前中田
二ノ後半ニ合山

夜分寒ク陰シ

途上多ク

夕日ナリ列田ト見ハ賤ラハの垣根ノ
給キハ日ハ九ノ旗

氣
身
而
護

評說史金吾印卷

全六張

孫叔子見憲殿下
賜飲食

設
以日の時分車倍

白へり

1513

冬
枯



大 月二十

師走・年よむ月
見るふみは残り多くも年暮れて

大雪	七 四	(後十時五十七分)
冬至	廿二	(後四時五十三分)

● 新月 一日
● 滿月 十六日
● 下弦 廿三日
● 上弦 九日

海の雨
 漁船のあかり懸き立て
 かたはらに乳児啼かせて
 さびしくも破れし網をつとる
 わかき漁夫の妻よ。
 勿吹きよ、風よ手荒れかの船に

一日 乙子の正月、御祭神は、多摩川太子板陳別寶
出、東宮太子、北野神社大湯祭
五日 水天宮正月、日蓮宗奉命講
八日 浄土宗寺院八會、正月奉命
十日 納金比羅寺、永川神社大湯祭
十二日 坂神地方正月事始、賣出し
年（正月一日、御祭神は、廿七日、十八日、廿四日、廿五日、廿六日、廿七日、廿八日、廿九日、三十日、三十一日、二月一日、二月二日、二月三日、二月四日、二月五日、二月六日、二月七日、二月八日、二月九日、二月十日、二月十一日、二月十二日、二月十三日、二月十四日、二月十五日、二月十六日、二月十七日、二月十八日、二月十九日、二月二十日、二月二十一日、二月二十二日、二月二十三日、二月二十四日、二月二十五日、二月二十六日、二月二十七日、二月二十八日、二月二十九日、二月三十日、三月一日、三月二日、三月三日、三月四日、三月五日、三月六日、三月七日、三月八日、三月九日、三月十日、三月十一日、三月十二日、三月十三日、三月十四日、三月十五日、三月十六日、三月十七日、三月十八日、三月十九日、三月二十日、三月二十一日、三月二十二日、三月二十三日、三月二十四日、三月二十五日、三月二十六日、三月二十七日、三月二十八日、三月二十九日、三月三十日、四月一日、四月二日、四月三日、四月四日、四月五日、四月六日、四月七日、四月八日、四月九日、四月十日、四月十一日、四月十二日、四月十三日、四月十四日、四月十五日、四月十六日、四月十七日、四月十八日、四月十九日、四月二十日、四月二十一日、四月二十二日、四月二十三日、四月二十四日、四月二十五日、四月二十六日、四月二十七日、四月二十八日、四月二十九日、四月三十日、五月一日、五月二日、五月三日、五月四日、五月五日、五月六日、五月七日、五月八日、五月九日、五月十日、五月十一日、五月十二日、五月十三日、五月十四日、五月十五日、五月十六日、五月十七日、五月十八日、五月十九日、五月二十日、五月二十一日、五月二十二日、五月二十三日、五月二十四日、五月二十五日、五月二十六日、五月二十七日、五月二十八日、五月二十九日、五月三十日、六月一日、六月二日、六月三日、六月四日、六月五日、六月六日、六月七日、六月八日、六月九日、六月十日、六月十一日、六月十二日、六月十三日、六月十四日、六月十五日、六月十六日、六月十七日、六月十八日、六月十九日、六月二十日、六月二十一日、六月二十二日、六月二十三日、六月二十四日、六月二十五日、六月二十六日、六月二十七日、六月二十八日、六月二十九日、六月三十日、七月一日、七月二日、七月三日、七月四日、七月五日、七月六日、七月七日、七月八日、七月九日、七月十日、七月十一日、七月十二日、七月十三日、七月十四日、七月十五日、七月十六日、七月十七日、七月十八日、七月十九日、七月二十日、七月二十一日、七月二十二日、七月二十三日、七月二十四日、七月二十五日、七月二十六日、七月二十七日、七月二十八日、七月二十九日、七月三十日、八月一日、八月二日、八月三日、八月四日、八月五日、八月六日、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、九月一日、九月二日、九月三日、九月四日、九月五日、九月六日、九月七日、九月八日、九月九日、九月十日、九月十一日、九月十二日、九月十三日、九月十四日、九月十五日、九月十六日、九月十七日、九月十八日、九月十九日、九月二十日、九月二十一日、九月二十二日、九月二十三日、九月二十四日、九月二十五日、九月二十六日、九月二十七日、九月二十八日、九月二十九日、九月三十日、十月一日、十月二日、十月三日、十月四日、十月五日、十月六日、十月七日、十月八日、十月九日、十月十日、十月十一日、十月十二日、十月十三日、十月十四日、十月十五日、十月十六日、十月十七日、十月十八日、十月十九日、十月二十日、十月二十一日、十月二十二日、十月二十三日、十月二十四日、十月二十五日、十月二十六日、十月二十七日、十月二十八日、十月二十九日、十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月三日、十一月四日、十一月五日、十一月六日、十一月七日、十一月八日、十一月九日、十一月十日、十一月十一日、十一月十二日、十一月十三日、十一月十四日、十一月十五日、十一月十六日、十一月十七日、十一月十八日、十一月十九日、十一月二十日、十一月二十一日、十一月二十二日、十一月二十三日、十一月二十四日、十一月二十五日、十一月二十六日、十一月二十七日、十一月二十八日、十一月二十九日、十一月三十日、十二月一日、十二月二日、十二月三日、十二月四日、十二月五日、十二月六日、十二月七日、十二月八日、十二月九日、十二月十日、十二月十一日、十二月十二日、十二月十三日、十二月十四日、十二月十五日、十二月十六日、十二月十七日、十二月十八日、十二月十九日、十二月二十日、十二月二十一日、十二月二十二日、十二月二十三日、十二月二十四日、十二月二十五日、十二月二十六日、十二月二十七日、十二月二十八日、十二月二十九日、十二月三十日、
年水年始の形式に流るゝと、回答が止
まらぬ。

[illegible]

月一十閏己巳
日 二

晴	晴
風寒	風寒
秋	秋
澄々下と社生 とさびり	千代姉へき井乃 周生、あやかりて 秩小氏目そ様ー かりる

本日ハ金ノ誕生日ナリ予前十一時在室久ナリ例年ノ
 祝慶未ル山村啓三夫婦、昨夜ノ夜砂ニ来ル
 十一時半ニ社一昨日午後御カ友、川上ト金見ノ願未
 ヲ社費ノ報ナラス
 二時電機會社重役會ニ出席ス
 ロールヨリ目黒路ノ件付ヲ做来ル(三金目)之レヲ創事ノ
 三在川川ノ方ニ
 カ友鮮銀送致ヨリ紹介ノ麦角件花氏来リ朝
 鮮市州金山、女稷山金會ニ付ナリ三苦針葉
 会長ヲ紹介シ金成ヨレテ詳細ヲ獲一取ワレム
 鈴木素興来リ家計援助ノ方ニ因テ興ヲ
 松田製錢常務ニ達シ南洋ノ於ケル錢針酒番援助
 ノ謝礼トシテ是松田(一)金年五百圓ヲ贈與セラル
 十五
 上野歸宅 青美ハ本日処々訪問ヲ受ケタル答禮、四ノ

期日
1996.11.18

[illegible]

朝ハ時未^レハハスリスルノ實知^レ趣キ不在牛十
 時父ノ代^レ理トシテ田村啓三^ノ今夕^ノ披露ノ席上^ニ後^ニシ
 依頼^シ来^ル午後^ニコリ而^{シテ}止ム
 貝島郡^ノ大^ニ太^ニ市^ニ庭院^ニ豫^ニ後^ニ差^ニ長^ニ生^ニルメ^ニ供^ニ奉^ニ手^ニ
 付^ニ地^ニ入^ニ場^ニ上^ニ一^ニ矢^ニッ^ニ帰^ニル^ニ若^ニハ^ニ族^ニト^ニ来^ニル
 午^ニ五^ニ時^ニ半^ニ田^ニ村^ニ正^ニ友^ニ而^ニ家^ニ長^ニ子^ニ縁^ニ組^ニ披露^ニ諸^ニ
 客^ニ列^ニ席^ニム^ニ来^ニ京^ニ会^ニ親^ニ赴^ニリ^ニ未^ニ賓^ニ約^ニ百^ニ八^ニ名^ニ
 田^ニ健^ニ次^ニ郡^ニ界^ニ大^ニ歸^ニ蝶^ニ伯^ニ子^ニ小^ニ三^ニ市^ニ六^ニ四^ニ市^ニ石^ニ橋^ニ
 貴^ニ順^ニ余^ニ興^ニア^ニリ^ニ博^ニ博^ニ和^ニ次^ニ子^ニ余^ニ未^ニ賓^ニ代^ニ表^ニシ
 成^ニ知^ニ者^ニ多^ニキト^ニ然^ニレ^ニ福^ニ以^ニレ^ニ論^ニ及^ニシ^ニテ^ニ今^ニ夕^ニ慶^ニ幸^ニヲ
 祝^ニシ^ニ可^ニ歲^ニ三^ニ歳^ニシ^ニテ^ニウ^ニヲ^ニ話^ニブ^ニ唱^ニ朱^ニ堂^ニヲ^ニ動^ニカ^ニレ^ニ宣^ニ夏^ニ
 祝^ニノ^ニ高^ニレ^ニ田^ニ氏^ニハ^ニ行^ニ住^ニヤ^ニハ^ニ族^ニト^ニナ^ニリ^ニ云^ニニ^ニ市^ニ部^ニ船^ニ名^ニ
 振^ニ氏^ニハ^ニ雄^ニ兵^ニ匠^ニノ^ニ叶^ニア^ニタ^ニ大^ニ説^ニ談^ニナ^ニリ^ニト^ニ推^ニ賞^ニス^ニモ^ニ云^ニア^ニモ^ニ
 余^ニ春^ニコ^ニリ^ニ知^ニテ^ニ昨^ニ夜^ニ余^ニ余^ニ伐^ニル^ニタ^ニリ^ニ久^ニ在^ニキ^ニ来^ニキ^ニ人^ニ

月一十閏己巳

十二時令社
社長ト精進会社役員ト付 社長及事務主任撰ト付
而テ限設アリ
午後五時 壽美ト共ニ東京会館ニ於テ 漆元太
郎ト飯野ト桂子 筑後ト路ノ喜ト等ニ 飯野ト
煤伯ト余ト杯ノ外メ衆ノ起立ヲウケス、除飯
野ト近處ト強リタリトテ 壽美大不平ナリト来ノ
大乗アリ、
夜分正夜ノ為メ（クリスマス用）買取メタルオモヤ
ヲ展換ス

羅火
生香

朝九時半三宅川商事会会長来訪日西路産甘茶川
、廿セルトノ限議停頓、音報告アリ
十一時社社主矢千川田正徹氏夫人折去ノ廣告ヲ
視、全氏宅ニ赴キ全氏ニ面会弔問ヲ述べ
午後社長ニ面会日西路ノ経過ヲ報告ス
午後四時半三宅川氏ノ催ニカキ博基会、本席ス
合ス者林権助男、小田次、大橋服部文節、以下
諸氏連、我大敗十一時帰宅

火 中

實與受けし願等許りし望下かな 余涙堪

(二六八一) す止寝を度制建奴國米

用しとくとくつろぎをばや 今井範子

(二和昭)す出を名十四天福没沈難題に沖ドンエドツウ鑑水農米 (三永寛)む定にろす軟没を地の者國澤蘇邨 364

月一十丁酉大日金百

酒より縁談面会
川上茂六未訪
大利より赤石實家三
四郎年八介収支尻石十
九同金より来ル
未田傳三手相花町半
上長男赤帯大
借用并長田ノ家ハナ
儀式敷カトノコナリ
長田ハ八人長田メル
不在モノハ家使用
所リ敬重ニ座食

四時半迄出

朝十一時半本社
社長ヨリ召垂ニリテ夜一時半鳥井段ノ知ノ子社
長ト面談日務沿革ノ開ス短途ヲ執着し時半
向敷ノ付合見テ交回ス
帰途疎理官知ノエ有ハ疎理ハハ陪食ハナシキ
帰ラス纏ナリ帰知ノ一ト松吉ヨリテ告シ待ツ事
約一時半知ノ子知知言フ知ノ子ハハ陪食後ハ面寛
公使ハ訪問シタルカメナリト知知言フ知ノ子ハハ
約ハ高島ヲ幸ニ賛費補給国産使用ノ高調ヲ知知
ナリ知ラザレハ南ヲタメキヲ殺スニ至ルナリ知知
合店ハ渡重ノ取扱カレタリト知知言フ知ノ子ハハ
及ビテ食見テ交回シニ時半迄本社
松田若新ハ池田中若ハ枝尾高島取長ヨリ沖島新ニ
交ハ爾シ候高ノ在ニハ竹面ハハ明ヲ腰取ス

酒より縁談面会
川上茂六未訪
大利より赤石實家三
四郎年八介収支尻石十
九同金より来ル
未田傳三手相花町半
上長男赤帯大
借用并長田ノ家ハナ
儀式敷カトノコナリ
長田ハ八人長田メル
不在モノハ家使用
所リ敬重ニ座食

子前十一時半本社
子後一時大吹海軍政務次官(省三)部外相ノ紹介
子未訪(紹介状ハ格ナ)五歳生年辰辰ノ件ナリ
ハ三三明治生年ノアリ別ニ三歳生年ヲ改リルハ必要ナキ
ニハ明治生年ニ市中スハ格ナ相談セラント半置
全一時ヨリ子時半迄ハ知知中三歳生年辰辰ノ格ナ
赤幸ノ辰辰アリ知知モ奈ハ未可
松村太即未訪
日露沿革ノ干渉及進為ノ事ハ知知格ナ未
四時半迄本社

千前十時分社

午後一時針書會社重役會列席

鈴木屋金十直吉、依頼ヨリ百十銀行、者藤井

依原存轉賣、紹介せしめ、蕎麦酒合社を長ト
直村凌平、武田英二、カール・ヤン

四時斗命辰七葉地支悅
華年忘一田墓合列

席十時終ニセ而シトシトシト降ル年暮街並蕭々

品さへも少く、茶一盃、二年の頼り、
為人乃

白帶下波

朝十時十分作爲午三時冊堂告別文合葬

干後一時鈔本庶幾未所

公斗時五十介小本植成株砂ノ為メ兼有

人亦明其所以然、歲暮、梅、梨、桃、李、主人不
在直、其鳥、母、省、不、幾、十、尺、女、卜、其、上、アリ、踏、リ

柳ノ葉ニ由テハ一高トヤルモノ
矢ノ傾キヲモテテク時

三小無碍り出せり 池ノ城ノ二ハ海ト堂ト付賢合

通志卷之六

昨日平次夫人未訪壽美へ、偕に、西郡日蔭田村三郎大

アリ依テ臥日方ノ後事ヲ斷テレテ至在殘念ノミナリ

方近親之異論アハ事彼返テ其方全懷ノ力ヲ用フニ

計摩り合ふて長きに及ぶ(懸人果て悲し) 緋天セリ

師の灯に成道はぐ人に入事いたづらに
小兒らが凍てさわぎぬるかも 中村 勝吉

月二十日巳巳
日 朔

日一十三月二十

月新●
分二十四時八前

分二十四時入胎

火 羅
成 捷

戕 𢇛

而

寒 濕

于前十一時分紅

市井并ノ令聚令仕令費以下ノ族砂ヲ云々

午後一時辰
中村上通科
三上高
齊り
池摩
子吉一
夕刻

病を治す

壽美ハ宝鴨母人ヲ市ニ染井ニ賣ス

(七三同)す 嶺 占 を 疊 砲 山 尉 松 (六拾明)す 辭 を 臣 大 喜 慶 川 德

378

